

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2025 年 10月 16日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	進路マップ 基礎力診断テスト					
③主な対象者	就職から専門学校を含む各種の学校・短期大学・四年制大学への進学まで幅広い進路をめざす高校1年生～高校3年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○		○	
⑥申請する測定ツールの目的・概要	【目的】 義務教育範囲から高校履修範囲までの基礎学力の定着度・学習習慣の状況を定期的に測定することで、学校としての指導改善、生徒の学習改善・学習意欲向上・基礎学力向上に役立ててもらうことを目的とする。 【概要】 ・「マーク式」（選択肢）問題と「記述式」問題から構成され、「マーク式」問題では主に基礎学力の「知識・技能」を、「記述式」問題では主に「思考力・判断力・表現力」を測定します。 ・義務教育範囲から高校履修範囲までの基礎学力の定着度をそれぞれの学校の進度にあわせて（回ごとの進度対応）測定することができます。回ごとに事前学習教材の内容とテスト問題の内容が連携しています。 ・生徒向けに、基礎学力の到達状況とその状況に基づいた個別の学習課題を結果として提供するとともに、学習アドバイスを提供することで、受検結果を次の学習改善につなげます。 ・学校へは学年集団の特性がわかる概況データ及びクラス担任・教科担任先生用に学習状況を踏まえた情報を提供することで、指導改善や生徒への声かけの材料として活用いただけます。 ・1年生から3年生まで全9回構成となっており、選択問題も含みますので学校の進度により合った実施・測定が可能です。国語・数学・英語についての「マーク式」問題50分間×3教科＋「記述式」問題15分間×3教科に加えて、学校採点の英語スピーキング問題5分間、アンケート30分間の構成です。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	【特長】 ・事前学習教材と教科テストの内容は4割～6割準拠しています。診断結果は「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」別の観点、「義務教育範囲」「高校範囲」別の観点等で集計し測定しています。 ・教科テストとあわせて学習力（教科学習面・生活面・進路面）に関するアンケートがあり、学習習慣作りを含めた生徒向けアドバイスを提供します。 ・事後学習用に、結果に応じた個別問題（生徒用個人帳票に掲載）とデジタル学習教材が提供されます。一人ひとりのつまずきにあわせた学習の仕組みを提供することで学習改善につなげます。 ・学力については、学力測定指標「学習到達ゾーン(GTZ)」により進路可能性と関係づけることで学力結果を生徒の進路選択につなげています。 【活用例】 1年生4月入学直後に実施し、入学段階での「基礎学力」と「学習力」の初期把握を行い、その結果を学年の指導計画に反映します。また、個人結果をもとにしたクラス担任先生の個別面談により生徒一人ひとりの状況把握ができます。1年生9月に2回めを受けることで、4月からの学力の推移と学習力の変容を把握し、4月からの指導成果を検証することで、学年後半の指導改善につなげます。 ・問題は全回各教科とも前年度と同一問題です。					
⑧実施期間、年間実施回数	【実施期間】原則、実施時期×学年回の選択は、学校による自由設定 問題としては、1年生4回、2年生3回、3年生2回、計9回 【お申込み時期】実施日の15日前を締切とする					
⑨実施方式（CBT/PBT）	PBTのみ					
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語			
	各学年回 「マーク式」問題：50分 「記述式」問題：15分	各学年回 「マーク式」問題：50分 「記述式」問題：15分	各学年回 「マーク式」問題：50分（リーディング・リスニング） 「記述式」問題：15分（ライティング） 学校採点のスピーキング問題： 5分			
⑪受検料	2,500円 ※消費税等込み					
⑫標準返却期間	1回め：「マーク式」結果＝答案到着後約1～2週間で返却（紙） 2回め：「記述式」＝答案到着後約3～4週間で返却（データ）					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://bhso.benesse.ne.jp					

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

☐主な対象者: 就職から専門学校を含む各種の学校・短期大学・四年制大学への進学まで幅広い進路をめざす高校の高校1年生～高校3年生

☐測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力

☐出題範囲:

スタート版…義務教育範囲からの出題

1年1回…高校1年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲からの出題

1年2回…高校1年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の1学期までの履修範囲からの出題

1年3回…高校1年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の2学期までの履修範囲からの出題

2年1回…高校2年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生全履修範囲からの出題

2年2回…高校2年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の1学期までの履修範囲からの出題

2年3回…高校2年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の2学期までの履修範囲からの出題

3年1回…高校3年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生全履修範囲からの出題

3年2回…高校3年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校3年生の1学期までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※統一実施日の設定がなく、どの学年の、どの回を実施するかは、履修状況に応じて、学校が選択することが可能です。かつ、一部選択大問を導入しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、大問を選択することが可能です。

☐主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

漢字や語彙、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式で出題します。

☐主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

☐難易度: 「マーク式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」問題 90%、「記述式」問題 10%（一部短答式を含む）程度で出題します。

②出題範囲

※設問数、配点ともほぼ同様です。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲 (現代の国語、 言語文化)	選択科目範囲	備考
スタート版	100%	0%	0%	
1 年 1 回	100%	0%	0%	
1 年 2 回	80%	20%	0%	
1 年 3 回	80%	20%	0%	
2 年 1 回	80%	20%	0%	
2 年 2 回	80%	20%	0%	
2 年 3 回	50%	50%	0%	
3 年 1 回	50%	50%	0%	
3 年 2 回	50%	50%	0%	

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、全体で 50～60%程度の得点率となるような難易度とします。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前学習教材に 4～6 割程度準拠した出題（同じ設定の問題で、数値を変えただけのもの等）であり、事前に学習すれば、得点できることで、学習意欲を喚起します。
- ・主に「記述式」問題の出題では、日常的に触れる機会の多い素材を用いた出題を行います。
- ・主に「マーク式」問題の出題では、義務教育範囲を含めた高校生の基礎となる学力測定を重視します。
- ・「スタート版」については、別売の義務教育範囲学び直し教材「マナトレ」と連動した出題であり、「マナトレ」での指導学習成果を試せる出題とします。

(5)その他特長

- ・毎年同一問題であるため、過年度との比較（今年度の高校 1 年生は、昨年度の高校 1 年生に比べて学力はどの程度の到達度か等）が可能です。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

- ・学校を通じた受検者個人への結果提供：早期結果提供を重視し「1 回め」と「2 回め」に時期を分けて結果提供しています。

「1 回め」：「マーク式」問題及びアンケート結果について紙媒体にて提供。

※答案到着後約 1～2 週間で返却。

※詳細は帳票見本「個人診断レポート」（資料 4）参照。

「2 回め」：「記述式問題」の結果を 1 回め

の結果に加えて、データで提供。

※答案到着後約 3～4 週間で返却

※詳細は帳票見本「個人診断レポート」（資料 6）参照。

「1 回め」の結果提供内容：

「学力面」

- ・教科学力テストにおける今回と前回の「学習到達ゾーン」（以下「GTZ」 ※1）。
- ・コース・科目ごとの得点、配点、校内平均、一つ上の「GTZ」までの得点、校内順位、得点率（「義務教育範囲」「高校履修範囲」「知識・技能」「思考力・判断力」の4カテゴリ）
- ・各教科の大問別結果、小問群（複数の設問を内容のまとまりとしてくくったもの）別結果、個人の強み・弱みに応じた取り組み問題および解答。
- ・一つ上の「GTZ」までの得点および今回の結果からの取り組むべき問題を提示することで、具体的な事後学習を起こすきっかけをつくり、受検者の学習意欲の喚起を支援します。

「学習習慣・生活習慣面」

- ・事前学習の取り組み度、生活面・教科面での頑張り度、授業外学習、学習の悩み、頑張りたいこと、頑張れていないこと、授業理解姿勢、定期試験学習などの状況を表示します。

「進路面」

- ・希望進路、将来の職業、現在の状況・条件、社会への関心や、自己を高めることへの関心等
- ・「学力面」だけでなく、「学習習慣・生活習慣面」「進路面」も含めた多面的な情報を掲載し、かつ、前回より良好な変容が見られる場合にはその部分を示すことで、学びのモチベーションを高めます。また同時に、学びに向かうための土台としての力が醸成されているかを確認することができます。

「2 回め」の結果提供内容：

電子データによる返却（専用無料 Web サイト経由）。

「個人診断レポート」

1 回めの提供内容に加えて、

「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題の得点率、校内順位、校内偏差値、レベル。

- ・各教科、各単元での定着度をレベル別に表示。
- ・学力結果に応じた取り組むべきデジタル学習教材の配信（一定期間のみ）。
- ・デジタル学習教材で「見て学ぶ」だけでなく、実際に問題を「解く」ことで、わかることとできることの両方の実現をねらっています。

(2) 学校等への結果提供内容・方法：

早期結果提供を重視し「1 回め」と「2 回め」に時期を分けて結果提供します。

「1 回め」：「マーク式」問題及びアンケート結果について紙媒体にて提供。

※答案到着後約 1～2 週間で返却。

※詳細は帳票見本「学年診断レポート」等（資料 1・2・3）参照。

「2 回め」：「記述式」問題の結果を 1 回めの結果に加えて、データで提供。

※答案到着後約 3～4 週間で返却。

※詳細は帳票見本「学年診断レポート」（資料 5）参照。

「1 回め」の結果提供内容：

＜学年・進路担当の先生への提供内容・方法＞

主に学年別のデータとして、以下の情報を中心に提供しています。

「結果概況」

- ・コース、各教科での「GTZ」の変化、事前学習教材への取り組み結果の変化など
- ※「生活面」「教科面」について今回と過去回の情報を掲載。

「学力面」

- ・コース、各教科での「GTZ」の上昇者人数、「GTZ」換算表、「GTZ」別人数。
- ・各教科での義務教育範囲問題の得点率度数分布、事前学習教材への取り組み状況。
- ・クラス別「GTZ」別人数。

「学習習慣・生活習慣面」

- ・出席、授業準備、提出物の状況、学習時間などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・各教科の授業外学習、定期試験学習の取り組み状況などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「学習習慣・生活習慣面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。

「進路面」

- ・希望進路、こだわり度、進路学習取り組み度などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「進路面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。

「『GTZ』の説明」

- ・「GTZ」の段階および進学・就職の目安、生徒の特徴とアドバイス例。
- ・学年集団としての「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の状況を掲載することで、多面的把握および指導改善の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。
- ・クラス別概況も示すことで、各クラスの傾向や注目ポイントを把握でき、クラス担任先生とのコミュニケーションをより深めるための支援を行います。

＜クラス担任の先生への提供内容・方法＞ ※クラスごとに冊子が分かれます。
主にクラス別のデータとして、以下の情報を中心に提供します。

「結果概況」

- ・「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の3つについて、前回から良好な変容が見られた生徒の人数。

「『GTZ』の説明」

- ・「GTZ」の段階と、進学・就職・学力の目安、一つ上のレベルに進むために必要な学習、卒業後に向けて身につけたい力をアドバイスとして表示。

「クラス一覧」

- ・クラスごとの各生徒の「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の概況を一覧化した情報。
- ・クラス一覧の項目について、弊社基準で良好と判断したものは青字、弊社基準で改善が必要と判断したものは赤字で表示し、一目で声かけのポイントがつかめるようにしています。さらに、前回から良好な変容が見られたものについては、その生徒がわかるようにし、褒めるポイントをわかりやすく示すことで、クラス担任先生と生徒のコミュニケーションが効果的に行われるための工夫を凝らしています。

「個人診断結果」

- ・クラスごとの各生徒の「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の結果を詳細に掲載したもので、内容は「受検者個人への結果提供内容」より主な項目を抜粋。

「学力面」

- ・コース、各教科の「GTZ」別人数度数分布。
- ・各教科の義務教育範囲問題の得点率度数分布、事前学習教材への取り組み状況。
- ・（「GTZ」の上昇下降をもとにした）褒めたい生徒、励ましたい生徒の人数と生徒名。

「学習習慣・生活習慣面」

- ・出席、授業準備、提出物の状況、学習時間などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・各教科の授業外学習、定期試験学習の取り組み状況などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「学習習慣・生活習慣面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。

「進路面」

- ・希望進路、こだわり度、進路学習取り組み度などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「進路面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。
- ・クラス集団としての「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の状況を掲載することで、多面的把握および指導改善の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。
- ・各生徒の概況を示すことで、各生徒の様子や成長ポイントを把握でき、クラス担任先生と生徒のコミュニケーションをより深めるための支援を行います。

<教科担当の先生への提供内容・方法> ※教科ごとに冊子が分かれます。

主に学年別のデータとして、以下の情報を該当教科中心に提供します。

「結果概況」

- ・「GTZ」の変化。
- ・「義務教育範囲」「高校範囲」「知識・技能」「思考力・判断力」の4観点での得点率（今回、過去回）。
- ・小問群単位での、校内で優先的に取り組むべき内容。
 - ・校内と目標得点率で差が大きかった小問群。
 - ・校内で「『GTZ』のD3ゾーン」と「『GTZ』のD2・D1ゾーン」の差が大きかった小問群等。
- ・事前学習教材への取り組み状況等。

「学力面」

- ・「GTZ」度数分布（今回と過去回）、「GTZ」上昇者人数。
- ・義務教育範囲問題の得点率度数分布（今回と過去回）。
- ・大問別の校内平均得点率（大問名、受検者数、配点、得点率、解答解説のページ番号）及び小問群別の校内平均得点率（大問番号、小問群名、出題範囲、得点率）。
- ・大問別のクラス平均得点率（大問名、配点、得点率、解答解説のページ番号）及び小問群のクラス平均得点率（大問番号、小問群名、クラスごとの得点率、各小問群に該当する解答欄番号）。
- ・小問群別「GTZ」レベル別校内平均得点率（大問番号、小問群名、出題範囲、「GTZ」で層ごとに分けた得点率）及びその活用方法について（データの見方、指導への活かし方のアドバイス）。

「学習習慣・生活習慣面」

- ・各教科の授業外学習、定期試験学習の取り組み状況などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「学習習慣・生活習慣面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。

「『GTZ』の説明」

- ・「GTZ」の段階と、進学・就職・学力の目安、一つ上のレベルに進むために必要な学習についてのアドバイス例。
- ・教科ごとに、「学力面」の結果を小問群単位で詳細に示すことで、教科指導および授業の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。

「2 回め」の結果提供内容：

電子データによる返却（専用無料 Web サイト経由）。

＜学年診断レポート＞

1 回めの提供内容に加えて、

- ・「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題に関する、各教科の得点率、校内順位、校内偏差値、レベル。
- ・教師用帳票の PDF データ及びそのもととなるローデータ（エクセル・CSV データ）について、専用無料 Web サイトに掲載。エクセル・CSV データについては、学校が必要に応じて加工等行うことが可能です。

分析会の実施について

- ・実施校からの要望に応じて、各県の営業担当者中心に、結果報告会を実施。各校の結果を分析し、指導改善のためのアドバイスやプラン・情報の提供などを行います。

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

「マーク式」問題による配点に基づき、得点率を算出し提供しています。この得点率をもとに「GTZ」に紐づけています。「記述式」問題にも配点があり、得点率を算出し提供しており、各教科の「記述式問題レベル定義（段階別評価）」に紐づけています。

＜「GTZ」設定方法＞

「GTZ」は学年・回ごとに決定しており、「A2～D3 -」までの 17 段階で示しています。これまでの受検実績（受検母集団データより同一受検者を抽出）に基づき、総合学力テストの「到達度指標」の設定にあわせて進路マップ 基礎力診断テストの「GTZ」を設定しています。

＜「GTZ」の目安＞

総合学力テストの結果を参考に「GTZ」の各ゾーンについて次のような目安を設けています。

「GTZ」の目安は、各教科における到達度を大きく 5 段階に分けて必要とされる力を定義しています。段階ごとに、各教科の「〇〇できる」という定性評価を記載します。

＜「記述式問題レベル定義」の設定方法と目安＞

レベル定義は、4 段階で構成され、各教科問題における測定すべき力を定義しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

- ・ 複数名の作問スタッフが問題作成から検討を行い、そのうえで、作問を行っていないチェック者が第三者的視点で、問題の質を吟味することで、出題の客観性が保たれています。また、これまでの過去の結果データを活かしつつ、難易のチェックを含めた作問をしているため、毎回同程度の難易度を維持できています。

(2) 学校における実施方法

- ・ ベネッセから学校に問題・アンケートなどの資材を送り、学校で実施していただく。マニュアル（教師用ガイド）や手引き（実施の手引き）等で、迷いなく指導・実施ができるように情報を提供しています。
- ・ 問い合わせ窓口を設けており質問を受け付けられるような体制を敷いています。
また、ベネッセの担当者を拠点ごとに配置し、実施にあたっての不明点や事前・事後指導等の確認、トラブル等への対応が学校ごとにできるようになっています。
- ・ 実施方法について、学校の実情に応じて、実施日・受検教科を自由に選択・設定できるようにしています。国語・数学・英語の3教科受検を推奨しているものの、教科単位で受検いただいた場合は、その教科についての成績を返却します。継続的な受検を前提としており、最新回の受検結果の中に、前回の受検結果も推移（過回比較）で掲載し、前回からの変化・変容を確認することを可能にしています。

(3) 採点の方法と体制

- ・ ベネッセでは、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取り組みを実施しています。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。

(4)情報管理体制

セキュリティ

- ・弊社ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（Pマーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1) ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2) 機密(個人)情報取り扱い各種ルールへの遵守
B. 場所に関する施策	(1) ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2) 拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1) 各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- ・緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- ・事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

1 視覚障害のある受検者への配慮

受検校のご要望をうけ、準備期間をいただき、問題の点訳、一部資料の拡大対応を予定します。弊社では従来のアセスメント実施で経験、実績のある対応です。

2 聴覚障害のある受検者への配慮

リスニング問題「聞くこと」実施に際し、音声と同じスクリプトを該当の受検者に見ていただける用意をして、解答できるよう対応します。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

- ・事前学習用問題集として、国語・数学・英語それぞれで、「One Week トライアル」（紙／WEB）を提供。各教科の活用状況について、アンケート「学習力チェック」の中で問うており、結果を教師用帳票、生徒用帳票に記載しています。
- ・事後学習用教材として、国語・数学・英語それぞれで、「あなた専用問題」とデジタル学習教材を提供。今回の各教科の学力結果をもとに、個人に応じて出し分けています。

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

- ・アンケート「学習力チェック」があります。内容は「進路意識」「学習と生活」「自分らしさ発見」「各教科の学習について」の4テーマで質問項目を設けています。
年度末に、当該年度内での推移と過年度での各比較をおこない、学力・学習状況・クロスの各観点で統計化したデータをWEBに掲載。

(4) 個人受検の可否

学校での指導を前提としたアセスメント教材であるため、個人受検はできません。

(5) 問題内容の情報提供

問題冊子と解答解説冊子は、受検後の振り返り等で自由に使っていただけます。

(6) その他

教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供のもととなる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

☐主な対象者: 就職から専門学校を含む各種の学校・短期大学・四年制大学への進学まで幅広い進路をめざす高校1年生～高校3年生

☐測定しようとする資質・能力

義務教育範囲も含め、

数学Ⅰ「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データの分析」

数学Ⅱ「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」

数学A「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」

に関する資質・能力 等

※2022年度 高校1年生対象にした教材における数学Aでの測定範囲は「場合の数と確率」「図形の性質」とします。

☐出題範囲:

スタート版…義務教育範囲からの出題

1年1回…高校1年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲からの出題

1年2回…高校1年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の1学期までの履修範囲からの出題

1年3回…高校1年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の2学期までの履修範囲からの出題

2年1回…高校2年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生全履修範囲からの出題

2年2回…高校2年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の1学期までの履修範囲からの出題

2年3回…高校2年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の2学期までの履修範囲からの出題

3年1回…高校3年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生全履修範囲からの出題

3年2回…高校3年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校3年生の1学期までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※統一実施日の設定がなく、どの学年のどの回を実施するかは、履修状況に応じて、学校が選択することが可能です。かつ、一部選択大問を導入しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、大問を選択することが可能です。

☐主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度： 「マーク式」問題は、平均 50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。
「記述式」問題は、平均 50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」問題 80～90%、「記述式」問題 10～20%（一部短答式を含む）程度で出題します。

②出題範囲

※設問数、配点ともほぼ同様です。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲	備考
スタート版	100%	0%	0%	
1年1回	100%	0%	0%	
1年2回	80%	20%	0%	*1
1年3回	80%	20%	0%	*1
2年1回	30%	50%	20%	*2
2年2回	30%	50%	20%	*2
2年3回	30%	50%	20%	*2
3年1回	30%	50%	20%	*2
3年2回	30%	50%	20%	*2

(※1) 複数の選択大問があるため、義務教育範囲の割合が大きい受検パターンにて記載。

(※2) 複数の選択大問があるため、必履修科目の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

・過去の実施データを参考にし、全体で 50～60%程度の得点率となるような難易度とします。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前学習教材に 4～6 割程度準拠した出題（同じ設定の問題で、数値を変えただけのもの等）であり、事前に学習すれば、得点できることで、学習意欲を喚起します。
- ・主に「記述式」の問題では、日常的に触れる機会の多い素材を用いた問題作成を行います。
- ・主に「マーク式」の問題では、義務教育範囲を含めた高校生の基礎となる学力測定を重視します。
- ・「スタート版」については、別売の義務教育範囲学び直し教材「マナトレ」と連動した出題であり、「マナトレ」での指導学習成果を試せる出題とします。

(5)その他特長

毎年同一問題であるため、過年度との比較（今年度の高校 1 年生は、昨年度の高校 1 年生に比べて学力はどの程度の到達度か等）が可能です。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅲ．運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅳ．情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語の申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語の申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語の申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

□主な対象者: 就職から専門学校を含む各種の学校・短期大学・四年制大学への進学まで幅広い進路をめざす高校1年生～高校3年生

□測定しようとする資質・能力

「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

スタート版…義務教育範囲からの出題

1年1回…高校1年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲からの出題

1年2回…高校1年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の1学期までの履修範囲からの出題

1年3回…高校1年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の2学期までの履修範囲からの出題

2年1回…高校2年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生全履修範囲からの出題

2年2回…高校2年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の1学期までの履修範囲からの出題

2年3回…高校2年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の2学期までの履修範囲からの出題

3年1回…高校3年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生全履修範囲からの出題

3年2回…高校3年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校3年生の1学期までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※統一実施日の設定がなく、どの学年の、どの回を実施するかは、履修状況に応じて、学校が選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式(口述式)で出題します。

□難易度:「マーク式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

「記述・口述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

CEFRにおける「A1～A2」程度とします。

(2)構成等

①出題形式

全体で「選択式」80～90%、「記述・口述式」10～20%（一部短答式を含む）程度とします。

Listening：すべて「選択式」（4問程度）。リスニング CD による音声放送。

欠席者対応として「アクセント・発音」での受検が可能です。

Reading：すべて「選択式」（30問程度）。

Writing：「選択式」7割程度（6問程度）、「記述式」3割程度（2問程度、10～20語程度）。

Speaking：「対面式」

※「対面式」については、測定することに代えて問題、解答例および採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数、配点ともほぼ同様です。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲 (英語コミュニケーションⅠ)	選択科目範囲	備考
スタート版	100%	0%	0%	
1年1回	100%	0%	0%	
1年2回	70%	30%	0%	
1年3回	70%	30%	0%	
2年1回	70%	30%	0%	
2年2回	60%	40%	0%	
2年3回	60%	40%	0%	
3年1回	60%	40%	0%	
3年2回	60%	40%	0%	

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、全体で50～60%程度の得点率となるような難易度とします。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前学習教材と4～6割程度準拠した出題（同じ設定の問題で、数値を変えただけのもの等）であり、事前に学習すれば、得点できることで、学習意欲を喚起します。
- ・主に「記述・口述式」問題では、日常的に触れる機会の多い素材を用いた問題作成を行います。
- ・主に「マーク式」問題では、義務教育範囲を含めた高校生の基礎となる学力測定を重視します。
- ・「スタート版」については、別売りの義務教育範囲学び直し教材「マナトレ」と連動した出題であり、「マナトレ」での指導学習成果を試せる出題とします。

(5)その他特長

毎年同一問題であるため、過年度との比較（今年度の高校1年生は、昨年度の高校1年生に比べて学力はどの程度の到達度か 等）が可能です。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅳ. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語の申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語の申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語の申請様式参照

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト
対象教科:国語・数学・英語
測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)

II. 結果提供に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
帳票見本: (1回め返却「マーク式」教師用)	学年診断レポート	資料1		
	教科診断レポート	資料2		○
	クラス診断レポート ※見本は24年度版です。	資料3		
帳票見本: (1回め返却「マーク式」生徒用)	個人診断レポート ※見本は24年度版です。	資料4	○	
帳票見本: (2回め返却「マーク式」+「記述式」: 教師用)	学年診断レポート ※見本は24年度版です。	資料5		○
帳票見本: (2回め返却「マーク式」+「記述式」: 生徒用)	個人診断レポート ※見本は24年度版です。	資料6	○	
帳票見本: 英語スピーキング学校採点キット支援ツール	英語スピーキング学校採点キット支援ツール ※見本はツールを使用して出力したイメージです。	資料7		○

III. 運営に関すること

＜提出必須の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施案内書 ※見本は24年度版です。	資料8
学校用実施マニュアル	実施の手引き ※見本は24年度版です。	資料9

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
公開データ見本	基礎力診断テスト 学力・学習状況レポート	資料10

お申し込み方法

WEBでのお申し込み



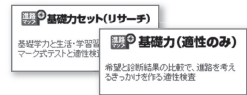
Benesse High School Online からご利用いただけます。
<https://bhsso.benesse.ne.jp>

※お申し込みには、学校ID・ログインコードまたは 先生個人ID・パスワードが必要です。※ホームページメンテナンス期間は入力できません。

①Topページのバナーをクリック



②お申し込みいただく教材をクリック



③必要情報を入力

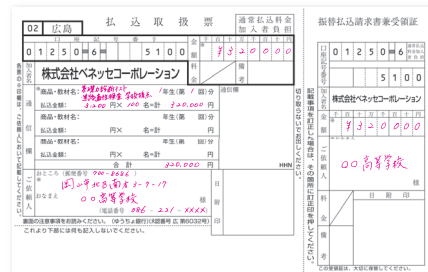


テストのスケジュールやWEBサービスなど
 AIチャットに
 質問する
 ※AIチャットで 教材内容やお申し込み方法について
 お問い合わせにお答えしています。

※使用している図版はイメージですので、実物とは異なる場合があります。

ご送金方法

- 同封の郵便振替用紙(払込手数料弊社負担)をご利用の
 うえ、お申し込みと同時に郵便局よりご送金ください。
- 郵便局がお渡しする「振替払込請求書兼受領証」は貴校
 の控えとなりますので、大切に保管してください。
- 請求書に「ゆうちょ銀行振込の場合のお振込み先」を記
 載しています。
- 請求書等は上記WEBよりダウンロードできます。
 (硬貨51枚以上でお支払いされる場合にかかる硬貨取
 扱料金は貴校でご負担ください)



▲郵便振替用紙記入例

よくある
ご質問

ご質問	回答
同じ学校(コード)で、通常版を受けるクラスと学 びの基礎診断認定版を受けるクラスが混在して もよいのでしょうか?	問題ありません。
進路適性検査と基礎力診断テストをセット受験 する場合、別の日に実施してもよいですか?	別の日に実施しても構いませんが、マークシートの発送は、原則、一度にまとめてください。また、 結果票は、後に実施されたテストのマークシートが弊社に到着してから約2週間後に発送します。
結果はいつ返ってきますか?	弊社にマークシートが到着してから約2週間後に結果資料を送送します。 記述式問題の結果は、弊社にマークシートが到着してから約4週間後にインターネットフォ ルダ上で結果資料をご提供します。
「ご実施予定日」はどう設定すればよいですか?	学年で実施する日をお書きください。部活動のためや当日の体調不良などの理由で一部の生徒が 遅れて実施する日は含みません。ご実施予定期間8営業日以内をお願いします。

⚠️ ご注意

2024年度版基礎力診断テストの答案は、2025年2月6日(木)までに弊社へ到着するようご返送ください。
 ※2023年12月現在の予定ですので、今後変更する可能性があります。

お問い合わせ 教材内容やお申し込み方法についてのお問い合わせは、こちらで承ります。

お客様サービスセンター



0120-350455

通話料
無料

受付時間(祝日、年末・年始を除く)／
 月～金 8:00～18:00 ± 8:00～17:00

2024年度実施のご案内

🌟 生徒の心に火をつける

進路マップ

【マーク式学力テスト】

成功体験をきっかけに生徒の学びの姿勢をつくる



基礎力診断テスト

(1～3年生向け)

進学から就職まで、多様な進路を希望する生徒全員でご実施いただ
 けるテストです。希望進路にかかわらず、生徒全員の「学び」への前向きな
 姿勢づくりにご活用いただけます。

【進路適性検査】視野を広げて考える



自己発見リサーチ

(主に1・2年生向け)

【進路適性検査】希望進路実現に向けて行動する



自己発見フォーカス

(主に2・3年生向け)

自己発見リサーチで進路学習を、自己発見フォーカスで進路選択をス
 タートできる進路適性検査です。進路の可能性に気づかせ、学習意欲
 につなげることができます。



生徒の多面的な成長を可視化し、
 ほめるきっかけづくりにつながる
 機能が満載

「やったら、できた」がリニューアル!

生徒の学ぶ手を止めない

デジタル支援・先生の伴走支援

記述式問題+英語スピーキング(学校採点版)を出題

文部科学省「高校生のための
 学びの基礎診断」認定版

教育・入試改革にも対応し、

「思考力・判断力・表現力」
 を測る問題を出題

実施日およびお申し込み締切日・料金

	教材名	お申し込み締切日	実施日	英語スピーキング	ご請求額 (消費税等込み)	標準受験料 (消費税等込み)
通常 版	①基礎力診断テスト単体	実施日の15日前	学校のご都合に 合わせて、 自由に設定 いただけます。		各回2,000円	各回2,200円
	②基礎力診断テスト +自己発見リサーチ もしくは自己発見フォーカス				各回2,800円	各回3,100円
	③進路適性検査単体				各1,100円	各1,200円
学 校 採 点 版	④基礎力診断テスト単体	実施日の15日前	学校のご都合に 合わせて、 自由に設定 いただけます。	学校採点	各回2,400円	各回2,600円
	⑤基礎力診断テスト +自己発見リサーチ もしくは自己発見フォーカス				各回3,200円	各回3,500円

※2023年度より料金が変わっています。

※ご注意

2024年度版基礎力診断テストの答案は、2025年2月6日(木)までに弊社へ到着するようご返送ください。

基礎力診断テスト・進路適性検査のご紹介

「高校生のための学びの基礎診断」に認定されています

文部科学省の「高校生のための学びの基礎診断」認定基準の「1. 思考力・判断力・表現力」、「2. 一定数の文章や数式等を記述する力」、「3. 英語4技能「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」を育成すること」は、これからの時代を生きていく生徒にとって重要な力であると考え、弊社では各アセスメントの改訂も同じ方針で進めました。基礎力診断テストにおいては、認定基準2、3の要素（記述式問題と英語スピーキング）を追加した「学びの基礎診断認定版」をご用意しています。

マーク式のアセスメントのみを選択いただくことも、オプションの形で記述式問題や学校採点の英語スピーキングを追加いただくことも可能です。料金については表紙下段をご確認ください。

学びの基礎診断認定版

通常版

マーク式問題

+

記述式問題

+

英語スピーキング
学校採点

●英語スピーキングの実施方法について

問題を収録したCDを用い対面で実施いただき、採点基準にのって生徒の解答を先生が評価します。学校のご予定に合わせて実施できます。弊社での採点処理・結果返却は行いませんが、Benesse High School Online上のマクロツールを用いて、学校での成績集計が可能です。

基礎力診断テスト ラインナップ・出題範囲

全国の高等学校への履修進度アンケート調査の結果をもとに、次の各時期の平均的な履修進度に合わせて、出題範囲・内容を設定していますが、スタート回を含め実施学年・回・実施日は自由に設定できます。学校行事や履修進度などに合わせてお選びください。

回と対応時期は以下の通りです。

	～前年度3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	スタート回	第1回						第2回					第3回
2年生		第1回						第2回					第3回
3年生		第1回						第2回					

学校がめざす資質・能力の育成に向けた基礎学力向上のためのPDCAサイクル構築をご支援します

事前準備

テスト実施

結果返却

次のテストへ

生徒

One-Week トライアル



テストに連動した学習
ができる

※テストの問題冊子には、One-Weekトライアルで出題されている問題に「One-Week」マークが掲載されます。

問題・
学習力チェック



高校学習の土台となる
学力を正確に把握する

結果診断レポート



頑張った結果がひと目で
わかり、やる気を引き出す

デジタルドリル・ふりかえり
BINGO・表彰状



やったらできたを実感・体感し、
前向きに学習に取り組める(デジタル
ドリルは事前・事後どちらでも
利用できます)

※同一年度内に同一学年で複数回実施したうち2回目
以降に属します(最初の実施回は属しません)

先生

教師用ガイド

「教師用サポートブック」で基礎力診断テストの
実施意義と活用方法を確認できる。

問題・解答解説

テスト実施後に
振り返りを行うことができる

結果診断レポート・デジタルドリルIDカタログ

詳細な結果をもとに分析し、今後の指導を検討できる
面談等を実施して、次のテストに向けた対策ができる

基礎力 診断テスト

《教材概要》

	基礎力診断テスト	記述式問題	英語スピーキング学校採点
実施 学年・回	スタート回／1・2年生:第1回・第2回・第3回／3年生:第1回・第2回	同左	同左
出題教科	国語 数学 英語／学習力チェック	国語 数学 英語 ※マーク問題等とは 同送となります。	英語 ※マーク問題等とは 同送となります。
実施時間	各教科 50分／学習力チェック 30分目安	国語25分 数学15分 英語10分	1人あたり18分 ※前後に 準備時間がかかります。
事前教材	「One-Week トライアル」教科別冊子(解答解説冊子は3教科合冊)	なし	なし
結果返却	マークシート弊社到着より約2週間後	答案弊社到着 より約4週間後	—

+デジタルで生徒が取り組もうとしている際の「手が止まる」を解決します

素材文の
読解で
手が止まる
生徒に

例)
素材文を理解するための
動画コンテンツ



※Classiの学習動画サービスは別途Classiのご利用をお申し込みいただくことで引き続き利用可能です。

難しい
問題をあきら
めてしまう
生徒に

例)
One-Week トライアルの
問題に何度でも取り組める
デジタルドリル



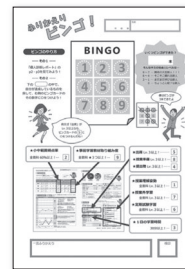
もっと
トライしたい
生徒に

例)
基礎学力の確認ができる問題も用意



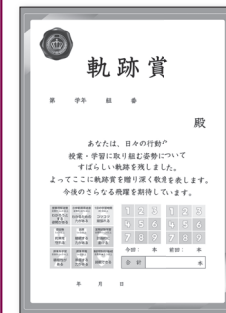
テストの前後で
活用できる
デジタルコンテンツを
準備しています。
(追加料金不要)

「ふりかえりBINGO」とは？



帳票返却の際に、生徒は自分の関心の高い項目だけに注目しがちです。そこで、多面的かつ丁寧に結果の振り返りができるよう、楽しく取り組めるビンゴ形式のワークを紙とデジタルで提供します。

2回以上実施の学校へ「表彰状」をお届け！



多面的に生徒の頑張りを
認めて、次の学びへのモチベーションアップを目的に「表彰状」をお届けします。結果帳票返却を「テスト結果を返す場」から「多面的に生徒を認め、ほめる場」とすることで、担任先生の事後指導を後押しします。

※ご注意
同一年度内に同一学年で複数回実施したうち2回目以降に属します。
(最初の実施回は属しません)

進路 適性検査

自己発見リサーチ
自己発見フォーカス

《特長》

- ①生徒一人ひとりが自分の進路について考え、リサーチするきっかけがつけられます。
- ②自分の希望(職業・学問)にフォーカスすることで、進路が絞り込めます。

《教材概要》

種類	自己発見リサーチ(主に1・2年生向け)／ 自己発見フォーカス(主に2・3年生向け)
実施時間	各50分目安 ※自己発見リサーチでオプション選択大問を 選択の場合は70分。
結果返却	マークシート弊社到着より約2週間後

基礎力
診断テスト

+

進路
適性検査

自己発見リサーチ
自己発見フォーカス

セット受験で、より効果的なご指導をしていただけます

- ・セット受験の場合、基礎力診断テストの「学習力チェック」はありません。アンケート内容は、「自己発見リサーチ」「自己発見フォーカス」に含まれています。
- ・「基礎力診断テスト」「進路適性検査」の結果返却を別時期に希望される場合は、セット受験ができませんので、それぞれ別にお申し込みください。
- ・同じ学年内で、セット受験と単体受験を混在でのお申し込みはできません。

実施の流れ

実施前

お申し込み

WEB（またはお電話）でお申し込みください。

※テスト実施日の15日前までにお申し込みください。※詳しいお申し込み方法はP.8をご参照ください。

ご請求額のご送金

お申し込み後、同封の郵便振替用紙にてご送金ください。

お申し込み部数確認

弊社よりお送りさせていただくメールでお申し込み部数をご確認ください。

問題などのお届け

申込書にご記入の「One-Week トライアル使用開始予定日」に合わせて、すべての教材をお届けします。

One-Week トライアルで事前学習★ テスト実施の1～2週間前に配付してください。



▲One-Week トライアル
(使用方紹介ページをリニューアル)

1～2週間をかけてのご実施がおすすめです。この期間を確保するために、テスト実施日の15日前までにはお申し込みください。

- 読みやすい誌面とステップ形式の問題で一人でも取り組みます。
- 1教科20分×5日間のプログラムだから負担感なく取り組みます。
- テスト問題に40～60%準拠しているから「やったらできた」を実感できます。
- テストの問題冊子には、One-Week トライアルで出題されている問題に◎マークが掲載されています。

テスト実施

時間割例	学びの基礎診断 認定版	「基礎力診断テスト」 のみ	「基礎力診断テスト」 + 「自己発見リサーチ」	「基礎力診断テスト」 + 「自己発見フォーカス」
SHR(10分)	受験カード記入 (10分目安)	受験カード記入 (10分目安)	受験カード記入 (10分目安)	受験カード記入 (10分目安)
1限目(50分) 8:40～9:30	国語(50分)	国語(50分)	国語(50分)	国語(50分)
休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)
2限目(50分) 9:40～10:30	数学(50分)	数学(50分)	数学(50分)	数学(50分)
休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)
3限目(50分) 10:40～11:30	英語(50分)	英語(50分)	英語(50分)	英語(50分)
休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)
4限目(50分) 11:40～12:30	記述式(50分)	学習力チェック (30分目安)	自己発見リサーチⅠ (50分目安)	自己発見フォーカス (50分目安)
	休憩(10分)		自己発見リサーチⅡ (20分)※オプション選択可能	

※英語スピーキングについては「実施の手引き」をBenesse High School Online(https://bhsos.benesse.ne.jp)に掲載していますので、ご確認ください。

学校オリジナル質問★

学校で自由に設定いただいた調査・質問項目の回答結果を集計してお返しするサービスです。ご実施は任意です。

- 回答は専用のマークシートに記入してください。
- 質問は最大40問まで、選択肢は20個まで設定可能です。
- 結果は「インターネットフォルダ」「FINE SYSTEM」を通じてお届けします。

※インターネットフォルダの詳細についてはP.7をご参照ください。

マークシートの発送 発送方法は、実施の手引き（問題などと同送）をご参照ください。

進路適性検査のみで実施の場合は、★のついている項目がありません。

実施後

結果返却

結果帳票

※マークシート弊社到着より約2週間後に発送

先生用



▲クラス診断レポート
(クラス担任先生用)



▲教科診断レポート★
(教科ご担当先生用)

生徒用



▲個人診断レポート
(生徒用)



▲学年診断レポート
(進路・学年主任先生用)

保管が必要な場合は、申し込み時に「2部」希望とご指定ください。

結果データ★

「Benesse High School Online」内のインターネットフォルダにて、以下の電子データをcsv形式ファイルで提供します。データでは、小問ごとの弱点まで詳細に確認できるので、小テストの問題作成などにもご活用いただけます。専用のツールを使ってMicrosoft® Excel®で編集いただけます。

※インターネットフォルダおよび各データの詳細についてはP.7をご参照ください。
※記述式問題の結果は約4週間後にインターネットフォルダに搭載します(紙の帳票はお送りしません)。

- ①マークリード早期配信サービス個人結果(学力)
- ②マークリード早期配信サービス個人結果(アンケート)
- ③(学校別集計)個人結果 ④(学校別集計)校内集計結果
- ⑤(学校オリジナル質問)個人結果 ⑥(学校オリジナル質問)校内集計結果
- ⑦(専門集計)個人結果 ⑧(専門集計)全国受験者人数

マークリード早期配信サービス※1

※マークシート弊社到着より約4営業日後に搭載

マークシートに印刷されている「解答用紙番号」に従って※2、「基礎力診断テスト」の採点結果のみを短期間でお届けするサービスです。マークシート弊社到着の約4営業日後※3に、インターネットフォルダに採点結果を搭載します。

- ※1 記述式問題は対象外です。
※2 各マークシートに印刷されている「解答用紙番号」をもとに、採点結果をお届けします。
※3 5日、年末・年始を除く月・金・土、実施の手引き「マークシート」冊子表紙・マークシート等に記載している注意事項を守ってご実施いただいた場合に限りです。

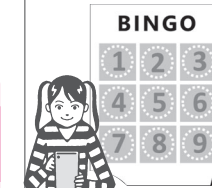
▲「マークリード早期配信サービス」JCSVデータイメージ

結果返却と同時に、デジタルコンテンツを利用可能★

ふりかえりBINGO+デジタルドリル

まずは、ふりかえりBINGOで
今回の結果を確認

一人ひとりの結果から
デジタルドリルに取り組む



個人診断レポートの
P.2とP.3を見ながら
BINGOに取り組む。

1問ずつ、または複数
問組み合わせたドリル
セット(約10分程度)に
取り組みます。

取り組み履歴確認



生徒の取り組み状況を
クラス一覧、生徒個別にリアルタイムで
確認できます。

専門高校別集計

同じ科・コースの生徒を母集団とし、県・ブロック別に集計します。同じ科・コースで学ぶ全国・地域の高校生の中で、学校・生徒の位置をとらえることができます。

集計方法

- 受験時に、生徒が所属する科・コースを「受験カード」にマーク。
- 年間4回の集計タイミングで、科・コースごとの母集団での集計結果をインターネットフォルダに搭載します。

対象学科

普通科、商業科、工業科、
農薬科、水産科、家庭科、
看護科、福祉科、総合学科

	1回目	2回目	3回目	4回目
専門高校別 集計結果搭載日	5月下旬 (予定)	9月下旬 (予定)	1月下旬 (予定)	3月上旬 (予定)

※上記スケジュールは、2023年12月時点の予定であり、今後変更になる可能性があります。

出題範囲

※実施学年・回・実施日は、学校の履修進度に合わせて自由に設定していただけます。
※この出題範囲は2023年12月現在のもので、今後変更する可能性があります。
※正確な過年度比較のために原則として問題改訂は行わず、また難易度の変更はありません
(新教育課程への対応は除く)。

各教科の選択問題は、網掛け部分になります。

実施回によって異なりますので、学校の履修進度に合わせて実施回をお選びください。

国語(50分)										100点
大問	回	スタート回	1年生1回	1年生2回	1年生3回	2年生1回	2年生2回	2年生3回	3年生1回	3年生2回
大問1		現代文・知識	現代文・知識	現代文・基礎	現代文・基礎	現代文・基礎	現代文・基礎	現代文・基礎	現代文・基礎	現代文・基礎
大問2		読解・基礎	読解・基礎	現代文・実用	現代文・実用	現代文・実用	現代文・実用	現代文・評論	現代文・評論	現代文・評論
大問3		現代文・評論	現代文・評論	現代文・評論	現代文・評論	現代文・評論	現代文・評論	古文	古文	古文
大問4				古文・知識	古文・知識	古文	古文	現代文・随筆	現代文・随筆	現代文・随筆
大問5				現代文・随筆	現代文・随筆	現代文・随筆	現代文・随筆	漢文・知識	漢文	漢文
大問6								現代文・実用	現代文・実用	現代文・実用
備考						大問4・5から1題選択		大問3・4から1題選択 大問5・6から1題選択		

1年生2回では一部問題の改訂を行っています。

数学(50分)										100点
大問	回	スタート回	1年生1回	1年生2回	1年生3回	2年生1回	2年生2回	2年生3回	3年生1回	3年生2回
大問1		基本問題	基本問題	基本問題	基本問題	基本問題	基本問題	基本問題	基本問題	基本問題
大問2		割合	中学校までの範囲 (関数)	中学校までの範囲 (関数)	中学校までの範囲 (関数)	数と式 Ⅰ	数と式 Ⅰ	数と式 Ⅰ	2次関数 Ⅰ	2次関数 Ⅰ
大問3		関数	中学校までの範囲 (関数)	中学校までの範囲 (関数)	中学校までの範囲 (関数)	2次関数の最大・最小 Ⅰ	2次関数の最大・最小 Ⅰ	2次関数 Ⅰ	図形と計量 Ⅰ	図形と計量 Ⅰ
大問4		図形		数と式の計算 Ⅰ	数と式の計算 Ⅰ	図形と計量 Ⅰ	図形と計量 Ⅰ	図形と計量 Ⅰ	場合の数と確率 A	場合の数と確率 A
大問5				不等式・集合と命題 Ⅰ	不等式・集合と命題 Ⅰ	場合の数 A	場合の数と確率 A	場合の数と確率 A	図形と方程式 Ⅱ	いろいろな関数 Ⅱ
大問6					2次関数の最大・最小 Ⅰ		図形の性質 A	図形と方程式 Ⅱ	微分法 Ⅱ	積分法・積分法 Ⅱ
大問7					場合の数 A		複素数と方程式 Ⅱ	三角関数 Ⅱ		
備考				大問2～5から2題選択	大問2～7から2題選択	大問2～5から2題選択	大問2～7から2題選択		大問2～6から2題選択	

3年生2回では新課程対応のため、一部問題の改訂を行っています。

英語(50分)		100点		
大問	回	スタート回	1年生1回～1年生3回	2・3年生各回共通
大問1		リスニング	リスニング	リスニング
大問2		会話表現	会話表現	会話表現
大問3		語い・文法	語い・文法	語い・文法
大問4		文構成	文構成	文構成
大問5		読解	読解・論理	読解・論理
備考			大問1・2から1題選択	

※リスニングテストの音源はWEBでもご覧いただけます。校内実施日の欠席者などの個別発音にご利用ください。
Benesse High School Online®トップページ>テスト・教材を活用する>基礎力診断テスト>実施・運営を行うをご確認ください。

<<学びの基礎診断認定版のみ>> 記述式問題(50分) 各教科20点

●国語(25分)			●数学(15分)			●英語(10分)				
大問	回	各回共通	大問	回	スタート回～1年生3回	2年生1回～2年生2回	2年生3回～3年生2回	大問	回	各回共通
大問1		聞き取り	大問1		中学校までの範囲	中学校までの範囲	中学校までの範囲	大問1		表現力
大問2		読み取り・書き取り	大問2			数学Iの2次関数の最大・最小まで	数学Iの範囲			

※「国語聞き取りテスト(実用用CD)」をかけていただくこと、放送開始から約25分後に数学の試験に、放送開始から約40分後に英語の試験に移るよう指示が入っていますので、記述式問題の全教科が終了するまでCDをかけたまま進捗行にておいてください。

Benesse High School Online

インターネットフォルダ

ご利用には事前の
個人登録が必要です。

先生向けの結果データは「インターネットフォルダ」でご提供しています。

学びの基礎診断対応(認定)版の記述式問題の結果も「インターネットフォルダ」でご確認いただけます。

〈特長〉

①より多くの先生方にデータをご活用いただけます！

Benesse High School Online(URL: <https://bhso.benesse.ne.jp>)に個人登録いただいたすべての先生が、結果データをダウンロードすることができます。校内でのテスト結果の共有がよりスピーディになります。

②加工できるデータをより早くお届けします！

加工可能なデータ形式でテストの結果をお届けします。学校でのご指導に応じてデータを加工いただけます。



WEB画面
イメージ

1 テスト・教材のフォルダを選択します。

2 ダウンロードする
ファイルを指定します。



3 先生のパソコンにファイルを
ダウンロードできます。

※使用している図版はイメージですので、実際とは異なる場合があります。

進路マップ「基礎力診断テスト」インターネットフォルダ搭載電子データ

分類	ファイル名	内容
マークリード早期配信サービス	(早期)個人結果(学力) (早期)個人結果(アンケート)	各個人の教科得点・大問別得点率一覧 各個人のアンケート回答一覧
学校別集計結果データ	個人結果 校内集計結果 (学校オリジナル質問)個人結果 (学校オリジナル質問)校内集計結果	各個人の教科成績(GTZ・偏差値など)一覧 校内の教科・大問・小問群・小問分析結果一覧 各個人のオリジナル質問回答一覧 校内のオリジナル質問集計一覧
専門高校集計結果データ	(専門集計)個人結果 (専門集計)全国受験者人数	科・コースごとの各個人の教科成績(偏差値・順位)一覧 科・コースごとの全国受験校・人数一覧
帳票PDFデータ	学年診断レポート 教科診断レポート	「学年診断レポート」冊子のPDFデータ 「教科診断レポート」冊子のPDFデータ
《学びの基礎診断対応版》受験校のみ》 記述式問題受験結果	個人結果 校内集計結果 (専門集計)個人結果 (専門集計)全国受験者人数・平均 学年生徒一覧レポート 学年結果レポート	各個人の「学びの基礎診断対応版」の記述の結果一覧 校内の「学びの基礎診断対応版」の記述の分析結果一覧 「(専門集計)個人結果」の記述試験における科・コースごとの各個人の教科成績(順位)一覧 "学びの基礎診断対応版"の記述試験における科・コースごとの全国受験校・人数一覧、平均得点率・ランク別人数一覧 "学びの基礎診断対応版"の記述における個人結果一覧のPDFデータ "学びの基礎診断対応版"の記述における校内結果のPDFデータ

※システムの都合上「対応版」の名称で出力されますが、「学びの基礎診断認定版」の結果が出力されます。

- 「インターネットフォルダ」は教材受験結果など個人情報扱うサービスです。ご利用になるには、先生個人ID登録と端末認証(グローバルIPアドレスの設定またはログインファイル(CD-ROM)の読み込み)が必要となります。詳しくはBenesse High School Online (<https://bhso.benesse.ne.jp>)、または「WEBサポートデスク」(0120-350124(通話料無料))にてご確認ください。
- インターネットフォルダでのデータ提供は、「基礎力診断テスト」単体受験または「基礎力診断テストと進路適性検査」のセット受験の場合に限ります。「進路適性検査」単体でのご受験の場合はご利用いただけません。

WEBサポートデスク

Benesse High School Online / FINE SYSTEM / Compass / インターネットフォルダ / マナビジョン (生徒向けサービス) のお問い合わせを承ります。

TEL **0120-350124** (通話料無料) WEB <https://bhso.benesse.ne.jp> CHAT 左記 Benesse High School Online ログイン後にチャットでもお問い合わせを受け付けています。

受付時間 (祝日、年末・年始を除く) / 月～金 8:00～18:00 土・日 8:00～17:00

※Benesse High School Online のご利用には学校ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。先生個人IDは、Benesse High School Online 内の「ID管理・設定」>「自己ID登録・変更」から発行していただけます。
※FINE SYSTEM のお問い合わせについては、下記 E-Mail から受け付けています。FINE SYSTEM 以外については、メールでの問い合わせはご遠慮ください。下記アドレスには、個人情報を含むデータ送信をしないようお願いいたします。
E-Mail: fhshelp@mail.benesse.co.jp

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名： 株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名： 進路マップ 基礎力診断テスト スタート版-1 年 1 回

対象教科： 国語

測定内容の区分： 基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、漢字の読み書き、語彙（適切な類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の使い方など）を理解し、適切に使うことができる。	【設問数】25 問（程度） 【出題形式】選択式 ※スタート版については 28 問（程度）となります	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 第 2 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。 イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた <u>文章に即して、言葉のきまり（口語文法、指示語、接続語、敬語など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】14 問（程度） 【出題形式】選択式 <u>※スタート版については 19 問（程度）となります。</u>	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこと。 中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。 オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 カ 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。 中学校学習指導要領 国語〔第 1 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。 オ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた短い文章を読み、 <u>指示語が指す内容を的確に把握</u> <u>することができる。</u>	【設問数】3問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた短い文章を読み、 <u>文章の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、文章の主題や筆者の主張を把握することができる。</u>	【設問数】3問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。 イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、 <u>指示語が指す内容を的確に把握することができる。</u>	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	C 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取ることができる。</u>	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、 <u>筆者の主張とその根拠を把握すること</u> ができる。	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、 <u>関連する情報を組み合わせたり、説明されている事象を他の事象に当てはめたりして考えることができる。</u>	【設問数】3問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>放送を聞き、語り手の発言の要点を理解し、書くことができる。</u>	【設問数】1 問 (程度) 【出題形式】記述式	B A 書くこと 話すこと・聞くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第2 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 B 書くこと イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。
<u>放送を聞き、内容を的確に聞き取り、発言の要点を把握することができる。</u>	【設問数】1 問 (程度) 【出題形式】選択式	A 話すこと・聞くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第2 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>放送を聞き、内容を的確に聞き取り、聞き手に対して工夫していたことを把握することができる。</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 選択式	A (思考力，判断力，表現力等) 話すこと・聞くこと	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔思考力，判断力，表現力等〕 A 話すこと・聞くこと エ 話の展開を予測しながら聞き，聞き取った内容や表現の仕方を評価して，自分の考えを広げたり深めたりすること。 オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い，合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>示された文章の内容を理解し、必要な情報に着目して取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C 「読むこと (思考力、判断力、表現力等)」	中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文章の内容を理解し、内容を 関連付けて根拠となる情報を 抽出することができる。	【設問数】1 問(程度) 【出題形式】短答式	C B 読む 書く こと こと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
示された文章の内容を理解し、そこから必要な情報を取り出し、理解したことを筋道立てて説明することができる。	【設問数】1 問(程度) 【出題形式】記述式	C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 基礎力診断テスト 1 年 2 回-2 年 2 回

対象教科：国語

測定内容の区分：基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた <u>文章に即して、漢字の読み書き、語彙（適切な類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の使い方など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】16 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 第 2 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。 イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、言葉のきまり（口語文法、指示語、接続語、敬語など）を理解し、適切に使うことができる。	【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこと。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。 オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 カ 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。 オ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。

複数の実用的な文章の内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択し<u>て的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。
--	----------------------------------	---	--

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数の実用的な文章の内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、比較・関連付けて考え、根拠の抽出や、情報の統合をすることができる。</u>	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C 「読むこと (思考力、判断力、表現力等)」	現代の国語 [思考力、判断力、表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、 <u>指示語が指す内容を的確に把握することができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式	C 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて，論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 中学校学習指導要領 国語〔第1 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 単語の類別について理解するとともに，指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取ることができる。</u>	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	C 〔思考力、判断力、表現力等〕 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、 <u>筆者の主張とその根拠を把握すること</u> ができる。	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>論理的な文章やそれについて</u> <u>の話し合いの様子を読み、読み</u> <u>取った情報を組み合わせたり、</u> <u>説明されている事象をほかの</u> <u>事象に当てはめたりして、考え</u> <u>を形成することができる。</u>	【設問数】 3 問（程度） 【出題形式】 選択式	C 読むこと （思考力、判断力、表現力等）	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古文読解に必要な語句の意味、品詞の活用を理解したり、 古文の基礎的な知識を使って 短い古典テキストを読むことができる。	【設問数】12 問 (程度) 【出題形式】選択式 サンプル問題 1	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>放送を聞き、語り手の発言の要点を理解し、書くことができる。</u>	【設問数】1 問 (程度) 【出題形式】記述式	B A 書くこと 話すこと・聞くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第2 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 B 書くこと イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。
<u>放送を聞き、内容を的確に聞き取り、発言の要点を把握することができる。</u>	【設問数】1 問 (程度) 【出題形式】選択式	A 話すこと・聞くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第2 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>放送を聞き、内容を的確に聞き取り、聞き手に対して工夫していたことを把握することができる。</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 選択式	A 「思考力，判断力，表現力等」 話すこと・聞くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔思考力，判断力，表現力等〕 A 話すこと・聞くこと エ 話の展開を予測しながら聞き，聞き取った内容や表現の仕方を評価して，自分の考えを広げたり深めたりすること。 オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い，合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。

測定しようとする資質・ 能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事 項	科目名及び内容
複数の文章の内容を理解し、そこから必要な情報を統合することができる。	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式 サンプル問題 2	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第2 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>文章の内容を理解し、別の情報から根拠となる情報を抽出することができ</u> <u>る。</u>	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2	C 読むこと B 書くこと （思考力、判断力、表現力等）	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数の文章の内容を理解し、そこから必要な情報を統合し、書くことができる。</u>	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C B 読むこと 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 基礎力診断テスト 2 年 3 回-3 年 2 回

対象教科：国語

測定内容の区分：基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた <u>文章に即して、漢字の読み書き、語彙（適切な類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の使い方など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】16 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 第 2 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。 イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた短い文章を読み、 <u>指示語が指す内容を的確に把握</u> <u>することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識 及び 技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 1 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。 オ 比喻，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた短い文章を読み、 <u>文章の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、文章の主題や筆者の主張を把握することができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、 <u>指示語が指す内容を的確に把握することができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕 C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取ること</u> ができる。	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、 <u>筆者の主張とその根拠を把握すること</u> ができる。	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>論理的な文章やそれについて</u> <u>の話し合いの様子を読み、読</u> <u>み取った情報を組み合わせた</u> <u>り、説明されている事象を他</u> <u>の事象に当てはめたりして、</u> <u>考えを形成することができ</u> <u>る。</u>	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C B (〔知識及び技能〕 読 書 考 考 力 及 び 判 断 力、 む く こ と 考 考 力、 こ と 考 考 力、 表現力等〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古文読解に必要な語句の意味、品詞の活用を理解することができる。	【設問数】5問(程度) 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古文読解に必要な語句の意味 を理解した上で、内容を正しく 理解し、解釈することができる。	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古文読解に必要な語句の意味 を理解した上で、文章の主題・ 要旨を理解することができ る。	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>漢文読解に必要な訓読のルール、語句・句形の基礎を理解することができる。</u>	【設問数】 5 問（程度） 【出題形式】 選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>漢文読解に必要な訓読のルール、語句・句形の基礎を理解した上で、内容を正しく理解し、解釈することができる。</u>	【設問数】 4 問 (程度) 【出題形式】 選択式	B 読むこと (〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕)	言語文化 [知識及び技能] (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 [思考力、判断力、表現力等] B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>放送を聞き、語り手の発言の要点を理解し、書くことができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】記述式	B A 書くこと 話すこと・聞くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第2 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 B 書くこと イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。
<u>放送を聞き、内容を的確に聞き取り、発言の要点を把握することができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式	A 話すこと・聞くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第2 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>放送を聞き、内容を的確に聞き取り、聞き手に対して工夫していたことを把握することができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式	A 話すこと・聞くこと 〔思考力，判断力，表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔思考力，判断力，表現力等〕 A 話すこと・聞くこと エ 話の展開を予測しながら聞き，聞き取った内容や表現の仕方を評価して，自分の考えを広げたり深めたりすること。 オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い，合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数の文章の内容を理解し、</u> <u>そこから必要な情報を統合す</u> <u>ることができる。</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C (思考力、判断力、表現力等) 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>文章の内容を理解し、別の情報から根拠となる情報を抽出することができる。</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 短答式	C 読むこと B 書くこと (思考力, 判断力, 表現力等)	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 [思考力, 判断力, 表現力等] B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し, 多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて, 文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど, 自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて, 文章全体を整えること。
			中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 [思考力, 判断力, 表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら, 主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり, 登場人物の言動の意味などについて考えたりして, 内容を解釈すること。 ウ 文章と図表などを結び付け, その関係を踏まえて内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし, 文章の構成や論理の展開, 表現の効果について考えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数の文章の内容を理解し、そこから必要な情報を統合し、書くことができる。</u>	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと （思考力、判断力、表現力等）	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト スタート版-1 年 1 回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>整数の加法・乗法・除法を組み合わせた計算をすることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 [第4学年] (4) 整数の計算の能力を定着させ、それをを用いる能力を伸ばす。
<u>累乗の計算を含む、簡単な正の数と負の数の四則演算をすることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] (1) 正の数と負の数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。 (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。 (ウ) 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。
<u>乗数が小数である、小数の乗法の計算をすることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 [第5学年] (3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

異分母の分数の減法の計算 をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 〔第5学年〕 (4) 分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。 オ 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。
乗数や除数が分数である、分数の乗法・除法の計算をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 〔第6学年〕 (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 イ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。
分数の除法を含む、簡単な分数の四則演算をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 〔第6学年〕 (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。 (2) 小数及び分数の計算の能力を定着させ、それらを用いる能力を伸ばす。

<u>正の数の平方根の計算をすることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第3 学年〕 (1) 正の数の平方根について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 数の平方根の必要性和意味を理解すること。 (ｲ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。 (ｳ) 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすること。
<u>因数分解の公式を利用して、与えられた式を因数分解することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第3 学年〕 (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。 (ｲ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$

簡単な一元一次方程式を解くことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (3) 一元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。 (1) 簡単な一元一次方程式を解くこと。
因数分解を利用して、簡単な二次方程式を解くことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (1) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。
解の公式を利用して、簡単な二次方程式を解くことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。
2つの数量をもとに、濃度を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D 数量関係	小学校学習指導要領 算数 〔第5学年〕 (3) 百分率について理解できるようにする。

与えられた数量について、適切に単位変換をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	B 量と測定	小学校学習指導要領 算数 [第5学年] (4) 速さについて理解し、求めることができるようにする。
与えられた度数分布表から、平均値を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。 (イ) コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理すること。
x と y の関係式をもとに、具体的な x の値から y の値を求めることができる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] (1) 比例、反比例について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 関数関係の意味を理解すること。 (イ) 比例、反比例について理解すること。 (ウ) 座標の意味を理解すること。 (エ) 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すこと。
与えられた具体的な一次関数の式をもとに、一次関数のグラフの傾きを求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 [第2学年] (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。

与えられた x と y に関する条件, および変化の割合から, <u>一次関数の式を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 一次関数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について, 変化や対応の特徴を見いだし, 表, 式, グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
与えられた具体的な一次関数と x の増加量から, <u>y の増加量を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 一次関数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について, 変化や対応の特徴を見いだし, 表, 式, グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
与えられた座標平面上の二点を通る, <u>直線の式を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 一次関数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について, 変化や対応の特徴を見いだし, 表, 式, グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
与えられた x と y に関する条件から, <u>関数 $y=ax^2$ の比例定数を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 関数 $y=ax^2$ について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について, 変化や対応の特徴を見いだし, 表, 式, グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。

与えられた具体的な関数 $y=ax^2$ を表す正しいグラフを選択することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
与えられた具体的な関数 $y=ax^2$ について、 x の増加量をもとに変化の割合を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
与えられた具体的な関数 $y=ax^2$ について、 x の変域をもとに y の変域を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
日常的な事象において、条件にあう適切な一次関数のグラフを選択することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。

日常的な事象において、条件にあう適切な一次関数の式を求め、与えられた y の値から x の値を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
一次関数の式やグラフを活用して、日常的な事象における課題解決をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
直方体において、ある辺とねじれの位置関係にある辺を選ぶことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (2) 空間図形について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 空間における直線や平面の位置関係を知ること。
与えられた半径と中心角をもとに、おうぎ形の面積を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (2) 空間図形について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や体、球の表面積と体積を求めること。

<u>与えられた長さをもとに、柱体・錐体・球の体積を求めることができる。</u>	【設問数】3問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (2) 空間図形について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 扇形の弧の長さ、面積、基本的な柱体や体、球の表面積と体積を求めること。
<u>与えられた三角形の内角と外角の条件をもとに、必要な角度の値を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	C 図形	小学校学習指導要領 算数 〔第5学年〕 (1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深める。 ウ 図形の性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること。
<u>中心角と円周角の関係をもとに、与えられた円周角の大きさから、中心角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (2) 円周角と中心角の関係について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知る。
<u>相似な三角形を見出し、相似比をもとに三角形の辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】2問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解すること。
<u>与えられた辺の長さ、三平方の定理をもとに、三角形の辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (3) 三平方の定理について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知る。

日常的な事象において、問題文で与えられた条件を利用して、 <u>図形の計量をすることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	D 数量関係	小学校学習指導要領 算数 〔第6学年〕 (1) 比について理解できるようにする。
問題文で与えられた条件を利用して、 <u>図形の面積比や体積比を求め、日常的な事象における課題解決をすることができる。</u>	【設問数】2問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。 (イ) 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確かめること。 (ウ) 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。
日常的な事象において、 <u>ヒストグラムをもとに資料の代表値を読み取ることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。
日常的な事象において、 <u>状況に応じた代表値を根拠として適切な結論を出すことができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。

日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、条件に当てはまる値を求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 数学 〔第4学年〕 (4) 整数の計算の能力を定着させ、それをを用いる能力を伸ばす。
日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、文字の値の範囲を求め、条件に当てはまる数を文字式を用いて表すことができる。	【設問数】1問 【出題形式】短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (2) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。
日常的な事象において、数式や言葉を用いて条件を比較し、課題解決の思考プロセスを説明することができる。	【設問数】1問 【出題形式】記述式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (2) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 文字を用いることの必要性和意味を理解すること。 (イ) 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。 (ウ) 簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。 (エ) 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1 年 2 回-1 年 3 回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>整数の減法・乗法・除法を組み合わせた計算</u> をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 〔第4学年〕 (4) 整数の計算の能力を定着させ、それを用いる能力を伸ばす。
<u>累乗の計算を含む、簡単な正の数と負の数の四則演算</u> をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 正の数と負の数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。
<u>除数が小数である、小数の除法の計算</u> をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 〔第5学年〕 (3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。
<u>除数が分数である、分数の除法の計算</u> をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 〔第6学年〕 (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 イ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

<u>分数の除法を含む, 簡単な分数の四則演算</u> をすることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 〔第 6 学年〕 (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め, それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして, 乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え, それらの計算ができること。
<u>正の数の平方根の計算</u> をすることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 〔第 3 学年〕 (1) 正の数の平方根について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
<u>文字を含む簡単な単項式の乗法・除法の計算</u> をすることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 〔第 2 学年〕 (1) 文字を用いた式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。
<u>文字を含む簡単な多項式の加法・減法の計算</u> をすることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 〔第 2 学年〕 (1) 文字を用いた式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。

簡単な一元一次方程式を解くことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 〔第1学年〕 (3) 一元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一元一次方程式を解くこと。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 一元一次方程式を具体的な場面で活用すること。
因数分解を利用して、簡単な二次方程式を解くことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 〔第3学年〕 (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。
解の公式を利用して、簡単な二次方程式を解くことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 〔第3学年〕 (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。
一方の数量の百分率から、からもう一方の数量を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D 数量関係	小学校学習指導要領 算数 〔第5学年〕 (3) 百分率について理解できるようにする。

速さ・時間・道のりの関係を利用して、速さと時間から道のりを求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	B 量と測定	小学校学習指導要領 算数 〔第6学年〕 (4) 速さについて理解し、求めることができるようにする。
標本の傾向から、母集団の傾向を推定することができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 標本調査について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。
x と y の関係式をもとに、具体的な x の値から y の値を求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 比例、反比例について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 関数関係の意味を理解すること。
与えられた x と y に関する条件から、比例・反比例を式で表すことができる。	【設問数】2問 【出題形式】選択式 サンプル問題 1(2)	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 比例、反比例について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すこと。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすこと。

与えられた具体的な一次関数と y の増加量から、 x の増加量を求めることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第 2 学年〕 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
与えられた座標平面上の二点を通る、直線の式を求めることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1(5)	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第 2 学年〕 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
与えられた x と y に関する条件から、 x と y の関係を $y=ax^2$ の式で表すことができる。	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。

与えられた具体的な関数 $y=ax^2$ を表す正しいグラフを選択することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 1(8)	C 関数	中学校学習指導要領 数学 [第3学年] (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
与えられた具体的な関数 $y=ax^2$ について、 x の変域をもとに変化の割合や y の変域を求めることができる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 1(9)	C 関数	中学校学習指導要領 数学 [第3学年] (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
日常的な事象において、条件にあう適切な関数 $y=ax^2$ を選択し、与えられた x の値から y の値を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 [第3学年] (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解すること。

日常的な事象において、与えられた関数 $y=ax^2$ を表す正しいグラフを選択することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (エ) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
関数 $y=ax^2$ の式やグラフを活用して、日常的な事象における課題解決をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (エ) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
文字を含む多項式の加法・減法の計算をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること

<u>文字を含む単項式の乗法・除法の計算をすることができ</u> <u>る。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数 と 式	中学校学習指導要領 数学 〔第2 学年〕 (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。
<u>乗法公式を利用して、与えら</u> <u>れた式を展開することができ</u> <u>る。</u>	【設問数】2 問 【出題形式】選択式	A 数 と 式	中学校学習指導要領 数学 〔第3 学年〕 (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$

<u>因数分解の公式を利用して、与えられた式を因数分解することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
<u>因数分解の公式を利用して、与えられた式を因数分解することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

平方根の性質を利用して，根号を含む式を，根号を使わずに表すことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。
絶対値の性質を利用して，絶対値を含む式を，絶対値を使わずに表すことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。
簡単な無理数を含む式の展開をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。

与えられた無理数を含む式について、分母の有理化を行うことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
日常的な事象において、与えられた条件から、具体的な数量について文字式を用いて表すことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 第2学年 (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。 (イ) 具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすること。 (ウ) 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。
日常的な事象において、分母の有理化を行い、無理数を含む式を計算することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。

日常的な事象において、無理数の計算を行い、日常的な事象における課題解決を解決することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
日常的な事象において、ヒストグラムをもとに資料の代表値を読み取ることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 〔第1 学年〕 (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。
日常的な事象において、状況に応じた代表値を根拠として適切な結論を出すことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 〔第1 学年〕 (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。 エ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 イ 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。

日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、xとyに関する条件から比例関係を式で表すことができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2 問 1	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 比例，反比例について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 比例，反比例を表，式，グラフなどに表すこと。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (イ) 比例，反比例として捉えられる二つの数量について，表，式，グラフなどを用いて調べ，それらの変化や対応の特徴を見いだすこと。
日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、xとyの関係を表す適切なグラフを選択することができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2 問 2	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 一次関数について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 一次関数について理解すること。 (ウ) 二元一次方程式を関数を表す式とみること。
日常的な事象において、数式や言葉，グラフを用いて条件を比較し，思考プロセスを説明することができる。	【設問数】1問 【出題形式】記述式 サンプル問題 2 問 3	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用すること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 2 年 1 回-2 年 3 回

(複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載 ※選択科目範囲の受検なし)

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>累乗の計算を含む, 簡単な正の数と負の数の四則演算を</u> <u>することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 [第1 学年] (1) 正の数と負の数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。
<u>文字を含む簡単な単項式の乗法・除法の計算を</u> <u>することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 [第2 学年] (1) 文字を用いた式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。
<u>因数分解を利用して, 簡単な二次方程式を</u> <u>解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 [第3 学年] (3) 二次方程式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。
<u>解の公式を利用して, 簡単な二次方程式を</u> <u>解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 [第3 学年] (3) 二次方程式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 解の公式を知り, それを用いて二次方程式を解くこと。

<u>二つの数量をもとに、濃度を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 変化と関係	小学校学習指導要領 算数 〔第 5 学年〕 C (3) 割合 (3) 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。
<u>与えられた座標平面上の二点を通る、直線の式を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第 2 学年〕 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
<u>与えられた辺の長さと三平方の定理をもとに、三角形の辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (3) 三平方の定理について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知ること。

<u>因数分解の公式を利用して、与えられた式を因数分解することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
<u>与えられた簡単な一次不等式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I 2 (1) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。
<u>与えられた無理数を含む式について、分母の有理化を行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I 2 (1) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
<u>正の数の平方根の計算をすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (1) 正の数の平方根について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。

<u>与えられた簡単な命題の真偽を判断</u> することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I 2 (1) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。
<u>平行線の錯角や同位角の性質について理解し, 角度を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 [第2 学年] (1) 基本的な平面図形の性質について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平行線や角の性質を理解すること。
<u>与えられた簡単な場合について確率を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 [第2 学年] (2) 不確定な事象の起こりやすさについて, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。
<u>関数の表し方を理解し, 二次関数の値を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

2次関数のグラフの平行移動について理解し、 <u>二次関数を平行移動して得られる放物線の関数を求める</u> ことができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
平方完成について理解し、 <u>放物線の頂点を求める</u> ことができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
<u>与えられた二次関数に関する条件から、二次関数の二次の係数を求める</u> ことができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
平方完成を利用して、 <u>二次関数の最大値と最小値を求める</u> ことができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。

二次関数のグラフの軸と定義域の位置関係から、二次関数の最小値を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
二次方程式の解を利用して、二次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。
二次関数のグラフと x 軸との共有点の個数を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。
二次関数のグラフを利用して、与えられた二次不等式を解くことができる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。

<u>日常的な事象において、与えられた状況から変数の定義域を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。
<u>日常的な事象において、与えられた条件を満たすような変数の値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。
<u>2次関数の式やグラフを活用して、日常的な事象を考察することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。
<u>三角比の定義を理解し、与えられた三角形の辺の長さから、余弦の値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。

<u>三角比の定義を理解し、具体的な角の正弦・余弦・正接の値を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。
<u>鋭角の三角比と鈍角の三角比の関係を理解し、与えられた余弦の値と同じ正弦の値を選択することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。
<u>三角比の相互関係を理解し、与えられた三角比の値から、同じ角の別の三角比の値を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。
<u>三角比の定義を理解し、具体的な余弦の値となる角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。

与えられた辺の長さや角の大きさから、 <u>正弦定理や余弦定理を用いて、求めたい長さの計量</u> をすることができる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
与えられた辺の長さや角の大きさから、 <u>三角形の面積を求め</u> ることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
日常的な事象において、与えられた条件と三角比の定義をもとに、 <u>求めたい長さの計量</u> をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。
日常的な事象において、与えられた条件と <u>正弦定理をもとに、求めたい長さの計量</u> をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。

日常的な事象において、与えられた条件と余弦定理をもとに、求めたい長さの計量を行い、課題を解決をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。
日常的な事象において、ヒストグラムをもとに資料の代表値を読み取ることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。
日常的な事象において、状況に応じた代表値を根拠として適切な結論を出すことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。
日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、x と y に関する条件から比例関係を式で表すことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] (1) 比例、反比例について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすこと。

<u>日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、xとyの関係を表す適切なグラフを選択することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関 数	中学校学習指導要領 数学 〔第2 学年〕 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知ること。 (ウ) 二元一次方程式を関数を表す式とみること。
<u>日常的な事象において、数式や言葉、グラフを用いて条件を比較し、思考プロセスを説明することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	(1) 数 と 式	数学 I 2 (1) イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 3 年 1 回-3 年 2 回

(複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載 ※選択科目範囲の受検なし)

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>累乗の計算を含む, 簡単な正の数と負の数の四則演算を</u> <u>することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第1 学年〕 (1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し, その四則計算ができるようにするとともに, 正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。 ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。
<u>文字を含む簡単な単項式の乗法・除法の計算を</u> <u>することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第2 学年〕 (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし, それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに, 文字を用いた式の四則計算ができるようにする。 ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。
<u>因数分解を利用して, 簡単な二次方程式を解く</u> <u>ことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第3 学年〕 (3) 二次方程式について理解し, それを用いて考察することができるようにする。 イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。

解の公式を利用して、簡単な二次方程式を解くことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第3 学年〕 (3) 二次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。 ウ 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。
二つの数量をもとに、濃度を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D 数量関係	小学校学習指導要領 算数 〔第5 学年〕 (3) 百分率について理解できるようにする。
与えられた座標平面上の二点を通る、直線の式を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2 学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。 イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。
与えられた辺の長さとお三平方の定理をもとに、三角形の辺の長さを求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第3 学年〕 (3) 観察、操作や実験などの活動を通して、三平方の定理を見いだして理解し、それを用いて考察することができるようにする。 ア 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知ること。

<u>因数分解の公式を利用して、与えられた式を因数分解することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (2) 文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりする能力を伸ばす。 イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
<u>与えられた簡単な一次不等式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I 2 (1) イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。
<u>与えられた無理数を含む式について、分母の有理化を行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I 2 (1) ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。

<u>正の数の平方根の計算をすることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 正の数の平方根について理解し、それを用いて表現し考察することができるようにする。 イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
<u>与えられた簡単な命題の真偽を判断することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I 2 (1) ア 数と集合 (イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。
<u>与えられた具体的なデータについて、四分位偏差を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(4) データの分析	数学 I 2 (4) ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差などの意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明すること。
<u>相関係数の値と散布図の関係をもとに、相関係数が示す適切な散布図を選択することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(4) データの分析	数学 I 2 (4) イ データの相関 散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。

関数の表し方を理解し、 <u>二次関数の値を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。
2 次関数のグラフの平行移動について理解し、 <u>二次関数を平行移動して得られる放物線の関数を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。
平方完成について理解し、 <u>放物線の頂点を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。
<u>与えられた二次関数に関する条件から、二次関数の二次の係数を求める</u> ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。

平方完成を利用して、二次関数の最大値と最小値を求めることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。
二次関数のグラフの軸と定義域の位置関係から、二次関数の最小値を求めることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。
二次方程式の解を利用して、二次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標を求めることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 二次関数の値の変化 (イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。

<u>二次関数のグラフと x 軸との共有点の個数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 二次関数の値の変化 (イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに, 数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。
<u>二次関数のグラフを利用して, 与えられた二次不等式を解くことができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 二次関数の値の変化 (イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに, 数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。
<u>日常的な事象において, 与えられた状況から変数の定義域を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また, 二次関数のグラフの特徴について理解すること。

<u>日常的な事象において、与えられた条件を満たすような変数の値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 二次関数の値の変化 (7) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。
<u>2 次関数の式やグラフを活用して、日常的な事象を考察することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) イ 二次関数の値の変化 (7) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。
<u>三角比の定義を理解し、与えられた三角形の辺の長さから、余弦の値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (7) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。

<u>三角比の定義を理解し, 具体的な角の正弦・余弦・正接の値を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し, 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。
<u>鋭角の三角比と鈍角の三角比の関係を理解し, 与えられた余弦の値と同じ正弦の値を選択することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し, 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。
<u>三角比の相互関係を理解し, 与えられた三角比の値から, 同じ角の別の三角比の値を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。

<u>三角比の定義を理解し, 具体的な余弦の値となる角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し, 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。
<u>与えられた辺の長さや角の大きさから, 正弦定理や余弦定理を用いて, 求めたい長さの計量をするができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し, それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。
<u>与えられた辺の長さや角の大きさから, 三角形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。
<u>日常的な事象において, 与えられた条件と三角比の定義をもとに, 求めたい長さの計量をすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (エ) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。

日常的な事象において、与えられた条件と正弦定理をもとに、求めたい長さの計量をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。
日常的な事象において、与えられた条件と余弦定理をもとに、求めたい長さの計量を行い、課題を解決をすることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。
日常的な事象において、ヒストグラムをもとに資料の代表値を読み取ることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D 資料の活用	中学校学習指導要領 数学 〔第 1 学年〕 (1) 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。 ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。
日常的な事象において、状況に応じた代表値を根拠として適切な結論を出すことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D 資料の活用	中学校学習指導要領 数学 〔第 1 学年〕 (1) 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。 イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。

日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、xとyに関する条件から比例関係を式で表すことができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。 エ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。
日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、xとyの関係を表す適切なグラフを選択することができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 ウ 二元一次方程式を関数を表す式とみること。 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。
日常的な事象において、数式や言葉、グラフを用いて条件を比較し、思考プロセスを説明することができる。	【設問数】1問 【出題形式】記述式	(1) 数と式	数学 I 2 (1) イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト スタート版-1 年 1 回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・モノローグまたは複数の人物による会話を聞いて、 <u>その場面や状況などを推測する</u> ことができる。	【設問数】 4 問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4 問 (程度) 【CEFR】 A1 程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・状況に応じた <u>正しい語彙や表現を使用することができる。</u>	【設問数】 8 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 8 問 【CEFR】 A1 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ, 物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで, イラストや写真, 図表なども参考にしながら, 要点を把握する活動。また, その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 ① カ 書くこと (カ) 趣味や好き嫌いなど, 自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。
・文レベルで、 <u>文法や語彙語法を正しく理解して使用することができる。</u>	【設問数】 12 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 12 問 【CEFR】 A1 程度		
・正しい文法語彙語法知識から <u>日本語の内容に即した英文を再構築することができる。</u>	【設問数】 6 問 (程度) 【出題形式】 選択式 (語句整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 6 問 【CEFR】 A1 程度		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話文を読んで、 <u>その場面や状況、会話の流れなどを推測する</u> ことができる。	【設問数】 4 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 4 問 【CEFR】 A1 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (4) 日常的な話題について，簡単な表現が用いられている広告やパンフレット，予定表，手紙，電子メール，短い文章などから，自分が必要とする情報を読み取る活動。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 英語で書かれた <u>チラシ等の</u> <u>情報を読んで、適切な対応を</u> <u>することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 2 問 【CEFR】A1～A2 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (4) 日常的な話題について，簡単な表現が用いられている広告やパンフレット，予定表，手紙，電子メール，短い文章などから，自分が必要とする情報を読み取る活動。 (4) 日常的な話題について，簡単な表現が用いられている広告やパンフレット，予定表，手紙，電子メール，短い文章などから，自分が必要とする情報を読み取る活動。 (5) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 (5) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで，イラストや写真，図表なども参考にしながら，要点を把握する活動。また，その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。
・ まとまりのある説明文や物語文などを読んで、 <u>テーマや概要をとらえることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 4 問 【CEFR】A1～A2 程度		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられたテーマに応じて、 <u>論理的な理由</u> を考えることができる。	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 2 問 【CEFR】 A1 程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと。 (7) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 (4) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。 (9) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 (5) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。
・与えられた <u>図表などの情報を正しく読み取り、英語で描写</u> することができる。	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1 問 【CEFR】 A1 程度		
・与えられた状況・情報を正しく読み取り、 <u>自分の意見を簡潔に英語で表現</u> することができる。	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1 問 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・身近な話題に関する問いに即座に 応じて、「やり取り」することができる	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4 問 【CEFR】A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話 す こ と	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に 応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活 動。
・身近な話題に関する英文を、 発音や抑揚に注意して読みあ げ、聞き手に伝わるように「発 表」することができる	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1 問 【CEFR】A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず		(4) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成 したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。
・図や表について、聞き手にそ の内容が伝わるように「発表」 することができる	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1 問 【CEFR】A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		(5) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容 に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上 で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりす る活動。
・図や表に関する問いに即座 に 応じて、「やり取り」するこ と ができる	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1 問 【CEFR】A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		① オ 話すこと [発表] (7) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する 活動。 (4) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、 簡単なスピーチをする活動。 (5) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容 に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、 自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話を <u>聞いて、その場面や状況などを推測</u> することができる。	【設問数】4 問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 1 年 2 ～ 3 回 義務教育範囲 3 問 英語コミュニケーション I 1 問 2 年 1 回 義務教育範囲 1 ～ 4 問 英語コミュニケーション I 1 ～ 4 問 【CEFR】A1 程度 サンプル問題 1	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。 英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・状況に応じた <u>正しい語彙や表現を使用することができる。</u>	【設問数】 8問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 1年2～3回 義務教育範囲 6問 英語コミュニケーションⅠ 2問 2年1回 義務教育範囲 4～7問 英語コミュニケーションⅠ 1～3問 【CEFR】 A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真，図表なども参考にしながら，要点を把握する活動。また，その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 ① カ 書くこと (フ) 趣味や好き嫌いなど，自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで、 <u>文法や語彙語法を正しく理解して使用することが</u> できる。	【設問数】12～13 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 1 年 2 ～ 3 回 義務教育範囲 9 問 英語コミュニケーション I 3 問 2 年 1 回 義務教育範囲 5 ～ 13 問程度 英語コミュニケーション I 1 ～ 7 問程度 【CEFR】A1 程度		英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・正しい文法語彙語法知識から <u>日本語の内容に即した英文を 再構築することができる。</u>	【設問数】 6問(程度) 【出題形式】 選択式(語句整序) 【出題数の割合】 1年 2～3回 義務教育範囲 4～5問 英語コミュニケーションⅠ 1～2問 2年 1回 義務教育範囲 3～6問 英語コミュニケーションⅠ 1～3問 【CEFR】 A1 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話文を読んで、 <u>その場面や状況、会話の流れなどを推測することができる。</u>	【設問数】4問(程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2 【出題数の割合】 1年2～3回 義務教育範囲 2～3問 英語コミュニケーションⅠ 1～2問 2年1回 義務教育範囲 1～4問 程度 英語コミュニケーションⅠ 1～4問程度 【CEFR】A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (4) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・英語で書かれた手紙やチラシ等の情報を読んで、適切な対応をすることができる。	【設問数】1～2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 1年2～3回 義務教育範囲 1～2問程度 英語コミュニケーションⅠ 1～2問程度 2年1回 義務教育範囲 1問程度 英語コミュニケーションⅠ 1問程度 【CEFR】A1～A2程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ｲ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ｳ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ｱ) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (ｲ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある説明文や物語文などを読んで、 <u>テーマや概要をとらえる</u> ことができる。	【設問数】 2～4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 1年2～3回 義務教育範囲 1～2問 英語コミュニケーションⅠ 1～2問 2年1回 義務教育範囲 1～4問 英語コミュニケーションⅠ 1～4問 【CEFR】 A1～A2程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられたテーマに応じて、 <u>論理的な理由を考える</u> ことができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 1年2～3回 義務教育範囲 2問 2年1回 義務教育範囲 1～2問 英語コミュニケーションⅠ 1～2問 【CEFR】 A1程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと。 (7) 趣味や好き嫌いなど，自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 (4) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。 (5) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 (エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき，自分の考えや気持ち，その理由などを書く活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた図表などの情報を正しく読み取り、 <u>英語で描写</u> することができる。	【設問数】 1 問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 1 年 2 ～ 3 回 義務教育範囲 1 問 2 年 1 回 義務教育範囲～英語コミュニケーション I 1 問程度 【CEFR】 A1 程度		英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
・与えられた状況・情報を正しく読み取り、 <u>自分の意見を簡潔に英語で表現する</u> ことができる。	【設問数】 1 問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 3 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・身近な話題に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】 A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。
・身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように「発表」することができる	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】 A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・<u>図や表について</u>、聞き手にその内容が伝わるように「<u>発表</u>」<u>することができる</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 スピーキング <u>サンプル問題 4</u> 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したリ、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>図や表に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず		考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。 また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 2年2回-3年2回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話を <u>聞いて、その場面や状況などを推測することができる。</u>	【設問数】4問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1～4問 英語コミュニケーションⅠ 1～4問 【CEFR】A1程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・状況に応じた <u>正しい語彙や表現を使用することができる。</u>	【設問数】 8問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 4～7問 英語コミュニケーションⅠ 1～3問 【CEFR】 A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真，図表なども参考にしながら，要点を把握する活動。また，その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで、 <u>文法や語彙語法を正しく理解して使用することが</u> できる。	【設問数】12～13 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 5～13 問程度 英語コミュニケーション I 1～7 問程度 【CEFR】A1 程度		動。 ① カ 書くこと (ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・正しい文法語彙語法知識から日本語の内容に即した英文を再構築することができる。	【設問数】 6 問(程度) 【出題形式】 選択式(語句整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 3～6 問 英語コミュニケーション I 1～3 問 【CEFR】 A1 程度		合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
・複数の人物による会話文を読んで、その場面や状況、会話の流れなどを推測することができる。	【設問数】 4 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1～4 問 程度 英語コミュニケーション I 1～4 問程度 【CEFR】 A1 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (4) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・英語で書かれた手紙やチラシ等の情報を読んで、適切な対応をすることができる。	【設問数】 1～2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問程度 英語コミュニケーション I 1問程度 【CEFR】 A1～A2 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ｲ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ｳ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ｱ) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある説明文や物語文などを読んで、 <u>テーマや概要をとらえる</u> ことができる。	【設問数】 2～4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1～4 問 英語コミュニケーション I 1～4 問 【CEFR】 A1～A2 程度		ら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられたテーマに応じて、 <u>論理的な理由を考える</u> ことができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1～2問 英語コミュニケーションⅠ 1～2問 【CEFR】A1程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと。 (7) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 (4) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。 (5) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 (6) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。
・与えられた <u>図表などの情報</u> を正しく読み取り、 <u>英語で描写</u> することができる。	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲～英語コミュニケーションⅠ 1問程度 【CEFR】A1程度		英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた状況・情報を正しく読み取り、 <u>自分の意見を簡潔に英語で表現する</u> ことができる。	【設問数】 1 問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1～A2 程度		に段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・身近な話題に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる	【設問数】4問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。
・身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように「発表」することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式 4)

・<u>図や表について</u>、聞き手にその内容が伝わるように「<u>発表</u>」<u>することができる</u>	【設問数】1 問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
--	---	--	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>図や表に関する問い</u> に即座に 応じて、「やり取り」する ことができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年2回

対象教科：国語

測定内容の区分：基本タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	言語文化			
出題のポイント	古文読解に必要な語句の意味、品詞の活用を理解したり、古文の基礎的な知識を使って短い古典テキストを読む力を測定する。			
主として問う能力	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	
	問一（１）	○		
	問一（２）	○		
	問二（１）	○		
	問二（２）	○		
	問三（１）	○		
	問三（２）	○		
	問三（３）	○		
	問四（１）	○		
	問四（２）	○		
	問四（３）	○		
	問四（４）	○		
出題形式	小問番号	選択式	短答式	記述式
	問一（１）	○		
	問一（２）	○		
	問二（１）	○		
	問二（２）	○		
	問三（１）	○		
	問三（２）	○		
	問三（３）	○		
	問四（１）	○		
	問四（２）	○		
	問四（３）	○		
	問四（４）	○		

サンプル
問題

■ 次の各問いに答えよ。

問一 次の傍線部の読み方を現代仮名遣いで書いたものとして適

当なものを、後の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ

選べ。解答番号は(1)が 26、(2)が 27。

(1) 嵯峨さかの院などには、いと口惜くろしう聞かせ給たまへど、……。

- ① くちおしうきかせたまうど
- ② くちをしうきかせたまへど
- ③ くちおしゆうきかせたまうど
- ④ くちおしゆうきかせたまえど
- ⑤ くちをしうきかせたまへど

(2) さはありとも、宮仕へをし給はざらむ。

- ① みやづかえをしたまわざらん
- ② みやづかへをしたまうざらむ
- ③ みやづかえをしたまはざらむ
- ④ みやづかへをしたまわざらん
- ⑤ みやづかへをしたまふざらん

問二 次の傍線部の古語での読み方を、現代仮名遣いで書いたもの

のとして適当なものを、後の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は(1)が 28、(2)が 29。

(1) 四月十余日にもなりぬれば、……。

- ① むつき ② さつき
- ③ うづき ④ ながつき
- ⑤ はつき

(2) 内裏に奏すべきことあるにより、……。

- ① ないり ② だいら
- ③ くり ④ ないない
- ⑤ うちら

問三 次の傍線部の品詞として適当なものを、後の①～⑨のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は(1)が 30、(2)

が 31、(3)が 32。

(1) 例の猫にはあらず、聞き知り顔にあはれなり。

(2) なほさらに言ふべきにもあらず。

(3) 「ふす猪の床」と言へば、やさしくなりぬ。

*ふす猪の床——草を敷いた猪の寢床。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| ① 動詞 | ② 形容詞 | ③ 形容動詞 |
| ④ 名詞 | ⑤ 連体詞 | ⑥ 副詞 |
| ⑦ 接統詞 | ⑧ 助動詞 | ⑨ 助詞 |

問四

次の傍線部の本文中での意味として最も適当なものを、後の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は(1)が 33、(2)が 34、(3)が 35、(4)が 36。

(1) めでたき事など、人の言ひ伝へぬは、かひなきわざぞかし。

- ① めずらしい事
- ② 変わった事
- ③ すばらしい事
- ④ 不思議な事
- ⑤ きまりが悪い事

(2) 海上もいたく荒れければ、浦伝ひ島伝ひして、……。

- ① たいへん
- ② 以前から
- ③ 早くも
- ④ 自然に
- ⑤ いつまでも

(3) 齋院^{さいいん}を替へられむとしけるを、そのことやみにければ、……。

* 齋院——京都の賀茂神社^{かもじんじ}の皇女^{みみこ}。

- ① 延期になってしまったので
- ② 中止になってしまったので
- ③ 心配になってしまったので
- ④ 内密のことになってしまったので
- ⑤ 不要のことになってしまったので

(4) 西行法師^{さいぎょうほふし}、男なりけるととき、かなしくしける女の、三、四歳ばかりなるが、重くわづらひて……。

* 男なりけるととき——ここでは「出家する前に」ということ。

- ① 気の毒に思っていた女の子で
- ② 風流がっていた女の子で
- ③ 悲しんでいた女の子で
- ④ かわいがっていた女の子で
- ⑤ さびしげだった女の子で

解答例	■問一（１） ４ 問一（２） １ 問二（１） ３ 問二（２） ２ 問三（１） ３ 問三（２） ８ 問三（３） ２ 問四（１） ３ 問四（２） １ 問四（３） ２ 問四（４） ４
（参考）学 習指導要 領の関連 項目	言語文化 〔知識及び技能〕 （１）言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 （２）我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解すること。

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年2回

対象教科：国語

測定内容の区分：基本タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	現代の国語												
出題のポイント	複数の情報から、解答を導き出す際に必要な情報を抽出、統合し、内容を理解して説明できる力を測定する。												
主として問う能力	<table><tr><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>○</td></tr></table>	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		○		○		○				
知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
	○												
	○												
	○												
出題形式	<table><tr><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	選択式	短答式	記述式	○				○				○
選択式	短答式	記述式											
○													
	○												
		○											
サンプル問題	2 次は、清掃ボランティアに参加した前川さんが書いた「活動体験記」と、ボランティアに関する【資料1】、【資料2】である。これを読んで、後の問いに答えよ。 【活動体験記】 私は先日、地域のボランティア団体が主催する海岸地域の清掃ボランティアに参加してきた。参加方法は簡単だ。事前に事務所に連絡し、氏名と連絡先を伝える。すると当日の集合場所や時間、必要な持ち物などを教えてくれる。 私がこの団体の清掃ボランティアに参加するのは五回目だ。これまでの四回は駅前公園の清掃だった。清掃活動を終えて、きれいになった公園を見たときの達成感が忘れられなかった。また、活動を重ねるたびに公園に捨てられているごみが少なくなっていることがうれしかった。自分の活動が①につながったのだと感じて、やりがいにつながった。さらに、同じ目的を持つ仲間と一緒に活動できるということも、私にとつてのモチベーションとなった。 今回、海岸地域の清掃ボランティアに参加しようと思った第一の理由は、以前、海水浴に行ったときに、海岸のごみの多さに驚いたことがあったからだ。第二の理由は、広い場所をきれいにすれば、より大きな達成感を得られるのではないかと考えたからだ。 結論からいえば、私の期待は外れた。海岸地域は想像以上にごみが多く、いくら掃除をしても、きれいになったと実感することはできなかった。海岸地域は海水浴やサーフィン、釣りなど様々な目的で多くの人が訪れるので、捨てられるごみも大量だ。驚いたことに、冷蔵庫や電子レンジといった家電製品や車のタイヤなども不法投棄されていた。ボランティア団体の職員の方がおっしゃるには、私たちに拾えるごみの量には限界があるため、ごみを拾う活動と並行して、ごみを捨てないようにするための広報活動も行っているとのことだった。確かにごみを拾うだけでは、ごみはなくなるまいだろう。また、清掃ボランティアに参加する人が増えていけば、そうした広報活動も多くの人に知ってもらえることができるので、是非いろいろな人に参加してほしいとおっしゃっていた。 清掃ボランティアはとても気軽に参加できるし、学べることもたくさんある。②という人が多いと思うが、ぜひ勇気を持って参加してほしいと思う。そして、ごみ問題の深刻さを知ってもらい、周りの人たちにそれを伝えてほしい。そうした小さな取り組みが、地域の環境を守っていくことにつながるのだと私は思っている。												

—国語 2—

【資料1】清掃ボランティアに参加した人の感想

●参加してよかったことはどんなことか

- ・きれいになった場所を見たときに達成感を得られたこと
- ・住民のごみ問題への意識が変わったと感じられることがあること。

- ・自分が人の役に立っているという意識を持てたこと。
- ・すばらしい仲間と出会えたこと。

- ・同じ目標に向かってみんなで頑張れること。

●清掃ボランティアに参加して感じた課題

- ・もっと大勢の人に清掃活動に参加してほしい。
- ・もっと清掃をする時間が長いとよい。

A

- ・いくら清掃してもごみを捨てる人がいれば何も変わらない。
- ・ごみを拾う人と捨てる人のいたちごっこになっている。

【資料2】清掃ボランティアに関する意識調査

(生徒会による生徒への調査結果)

清掃ボランティアに参加したいですか

是非参加したい	36%
どちらかというに参加したい	24%
どちらでもない	5%
どちらかというに参加したくない	6%
参加したくない	12%
分からない	17%

清掃ボランティアに参加したことがありますか

ある	13%
ない	87%

問一 【活動体験記】と【資料1】の内容をもとにして、【活動体

験記】中の①に当てはまる言葉として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、番号で答えよ。

4

1 きれいな公園の周辺に暮らす人々の満足感

2 公園を利用する人のごみ問題への意識の変化

3 認められて、その地域に暮らす人々からの評価

4 ごみを出さない社会作りへの住民の取り組み

問二 【資料1】のAの二つの課題への対応として、前川さんが

参加したボランティアを主催する団体が行っている取り組み

として最も適当な表現を、【活動体験記】から十五字以上、

二十字以内で抜き出して答えよ。

5

問三 【活動体験記】と【資料2】から読み取れる内容をもとに

して、【活動体験記】中の②に当てはまる内容を二十

字以上、四十字以内で答えよ。

6

解答例	問一 2 問二 ごみを捨てないようにするための広報活動 問三 実際には参加したことがないけれど清掃ボランティアに参加したいと思っている。 【採点ポイント】 「実際には参加したことがない」けれど「清掃ボランティアに参加したいと思っている」という内容が書けている。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

サンプル問題について

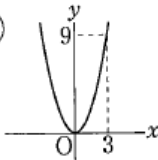
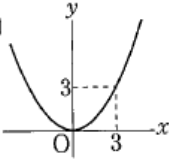
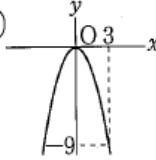
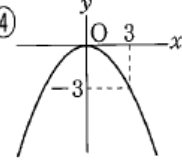
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-1年3回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号 1

出題科目	中学校 数学																				
出題のポイント	中学校数学の関数領域における知識・技能を系統的に理解できているかを測定する。																				
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(5)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(8)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(9)</td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(2)	○		(5)	○		(8)	○		(9)	○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
(2)	○																				
(5)	○																				
(8)	○																				
(9)	○																				
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(5)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(8)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(9)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(2)	○			(5)	○			(8)	○			(9)	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																		
(2)	○																				
(5)	○																				
(8)	○																				
(9)	○																				
サンプル問題	(2) y は x に比例し, $x=3$ のとき $y=-6$ である。x と y の関係を式で表すと, イ である。 ① $y=-18x$ ② $y=-2x$ ③ $y=-\frac{1}{2}x$ ④ $y=-\frac{1}{18}x$ (5) 2点 $(0, -3)$, $(1, -5)$ を通る直線の式は, オ である。 ① $y=-2x-3$ ② $y=-2x+3$ ③ $y=2x-3$ ④ $y=2x+3$ (8) 関数 $y=-\frac{1}{3}x^2$ のグラフは, ク である。 ①  ②  ③  ④  (9) 関数 $y=-x^2$ において x の値が1から4まで増加するとき,変化の割合は ケ である。 ① -5 ② -3 ③ 3 ④ 5																				
解答例	(2) ② (5) ① (8) ④ (9) ①																				
(参考)学習指導要領の関連項目	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 比例, 反比例を表, 式, グラフなどに表すこと。 中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 一次関数について理解すること。																				

	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕
--	---------------------------

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 関数 $y=ax^2$ について理解すること。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-1年3回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

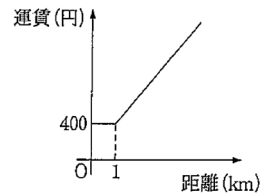
サンプル問題番号 2

出題科目	中学校 数学 数学 I																
出題のポイント	中学校数学の関数領域, および高等学校数学の数学 I (数と式) における, 日常的な事象での課題解決について知識・技能を活用し, 思考プロセスを説明することができるかどうかを測定する。																
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問 1		○	問 2		○	問 3		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等															
問 1		○															
問 2		○															
問 3		○															
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問 1</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問 1	○			問 2	○			問 3			○
小問番号	選択式	短答式	記述式														
問 1	○																
問 2	○																
問 3			○														
サンプル問題	タクシーの運賃は, タクシーに乗ったときはじめに表示される「初乗運賃」と, 距離に応じて加算される「加算運賃」の合計で算出される。A 町には「にっこうタクシー」「げっこうタクシー」という 2 つのタクシー会社があり, それぞれの運賃が表 1 のようになっている。 <table><tr><th>会社名</th><th>初乗運賃</th><th>加算運賃</th></tr><tr><td>にっこうタクシー</td><td>最初の 1 km まで 400 円</td><td>以降 240 m ごとに 80 円加算</td></tr><tr><td>げっこうタクシー</td><td>最初の 2 km まで 700 円</td><td>以降 250 m ごとに 100 円加算</td></tr></table> 表 1 ここでは, <u>加算運賃を距離の 1 次関数として考える</u> こととする。 すなわち, にっこうタクシーについては, 1 km を超えた分の距離を x, 加算運賃を y とすると タクシーに乗った場所 距離 $y = \frac{1}{3}x$ が成り立つ。 また, げっこうタクシーについては, 2 km を超えた分の距離を x, 加算運賃を y とすると タクシーに乗った場所 距離 $y = \boxed{\text{エ}}$ x が成り立つ。 問 1 $\boxed{\text{エ}}$ にあてはまる数として最も適当なものを, 次の 1～4 のうちから一つ選び, 番号で答えよ。 1 $\frac{11}{3}$ 2 $\frac{8}{7}$ 3 $\frac{2}{5}$ 4 $\frac{1}{9}$	会社名	初乗運賃	加算運賃	にっこうタクシー	最初の 1 km まで 400 円	以降 240 m ごとに 80 円加算	げっこうタクシー	最初の 2 km まで 700 円	以降 250 m ごとに 100 円加算							
会社名	初乗運賃	加算運賃															
にっこうタクシー	最初の 1 km まで 400 円	以降 240 m ごとに 80 円加算															
げっこうタクシー	最初の 2 km まで 700 円	以降 250 m ごとに 100 円加算															

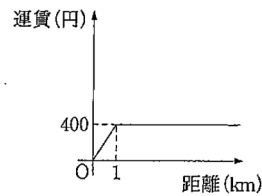
問2 次のグラフは、表1をもとに、にっこうタクシーとげっこうタクシーの運賃をグラフにしたものである。それぞれのタクシー会社の運賃を表すグラフとして最も適当なものを、次の1～4のうちから一つずつ選び、番号で答えよ。

にっこうタクシーのグラフ：

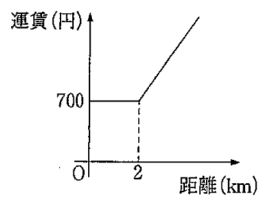
げっこうタクシーのグラフ：



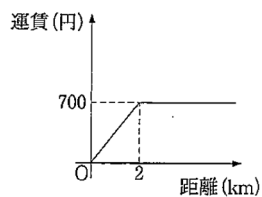
1



2



3



4

問3 さつきさんの家からタクシーを利用して、次の表2の施設に4000円以内で行く場合、どちらか一方のタクシー会社でしか行くことのできない施設をすべて答えなさい。また、選んだ理由も答えなさい。ただし、問題文にあるように、加算運賃を距離の1次関数として考えることとします。

施設：

選んだ理由：

施設	さつきさんの家からの距離
病院	3 km
市民会館	7 km
ショッピングモール	9 km
映画館	11 km
遊園地	15 km

表2

解答例

解答番号	正答・解答例
エ	3
オ	1
カ	3
キ	映画館
ク	にっこうタクシーについて、初乗運賃を除いた $4000 - 400 = 3600$ (円) までで乗ることができる距離を x m とすると $3600 \geq \frac{1}{3}x, x \leq 10800 \text{ (m)}$ よって、にっこうタクシーで4000円以内で乗ることができる距離 y_1 は $y_1 \leq 1000 + 10800 + 240 = 12040 \text{ (m)}$ げっこうタクシーについて、初乗運賃を除いた $4000 - 700 = 3300$ (円) までで乗ることができる距離を x m とすると $3300 \geq \frac{2}{5}x, x \leq 8250 \text{ (m)}$ よって、にっこうタクシーで4000円以内で乗ることができる距離 y_2 は $y_2 \leq 2000 + 8250 + 250 = 10500 \text{ (m)}$ 以上より、さつきさんの家からタクシーを利用して、表2の施設に4000円以内で行く場合、映画館だけは、にっこうタクシーでしか行くことができない。

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 2C (1) イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 比例, 反比例として捉えられる二つの数量について, 表, 式, グラフなどを用いて調べ, それらの変化や対応の特徴を見いだすこと。 (イ) 比例, 反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。 中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 2C (1) イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について, 変化や対応の特徴を見だし, 表, 式, グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。 数学 I 2 (1) 数と式 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し, 簡単な命題を証明すること。 (イ) 問題を解決する際に, 既に学習した計算の方法と関連付けて, 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 一次不等式を問題解決に活用すること。
---------------------------------------	--

サンプル問題について

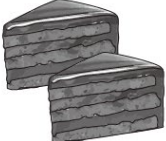
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	中学校学習指導要領 外国語																				
出題のポイント	聞き取った内容から、その状況や場面を正しく推測できるかを測定する。																				
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No. 1</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>No. 2</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>No. 3</td><td>○</td><td></td></tr> </tbody> </table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	No. 1	○		No. 2	○		No. 3	○									
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
No. 1	○																				
No. 2	○																				
No. 3	○																				
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>No. 2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>No. 3</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	No. 1	○			No. 2	○			No. 3	○						
小問番号	選択式	短答式	記述式																		
No. 1	○																				
No. 2	○																				
No. 3	○																				
主として問う技能 (英語のみ)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>No. 2</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>No. 3</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	No. 1	○				No. 2	○				No. 3	○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く																	
No. 1	○																				
No. 2	○																				
No. 3	○																				
サンプル問題	No. 1 Which T-shirt are they talking about ? ア  イ  ウ  エ  No. 2 What will they buy ? ア  イ  ウ  エ 																				

	No. 3 What are they looking at ? ア  イ  ウ  エ  【放送文】 No.1 Man : Which T-shirt do you like best ? Woman : I like the white one over there. Man : The one with the black sleeves ? Woman : That's right. I'll buy it. No.2 Woman : What kind of cake do you want ? Man : The chocolate cake. Woman : But that cheesecake looks good, too ! Man : OK, let's get a small piece of each. No.3 Woman : Look at that dog over there ! Man : The one with the long tail ? Woman : Yes. Isn't he cute ? Man : Yeah, and he has a bandana around his neck, too !
解答例	No. 1 ウ No. 2 エ No. 3 エ 絵を選択するための情報を、正確に聞き取れたかがポイント。
(参考)学習指導要領の関連項目	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	中学校学習指導要領 外国語																							
出題のポイント	簡単な会話文を読み、状況や会話の流れなどを理解できるかを測定する。																							
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		(1)	○			(2)	○			(3)	○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○						
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>(1)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)		○			(2)		○			(3)		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
(1)		○																						
(2)		○																						
(3)		○																						
サンプル問題	次の会話文の（ ）に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下のア～エのうちから一つずつ選び、記号で答えなさい。 (1) A： Hi！ B： How are you doing？ A： （ ） B： That's good. ア How are you？ イ Pretty good. ウ Too bad. エ What's up？ (2) A： （ ） B： Really？ Why so soon？ A： I have something to do at home tonight. B： OK. It was nice to meet you. ア I'm afraid I must go now.																							

解答例	(1) イ (2) ア (3) ウ 会話の定型表現に加え、会話の話題と流れを理解できたかがポイント。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:3

出題科目	英語コミュニケーションⅠ										
出題のポイント	与えられたテーマに関して、自分の意見を簡潔に英語で表現することができるかを測定する。										
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		—		○			
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
—		○									
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式								
—			○								
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	—				○
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
—				○							
サンプル問題	あなたは日本に留学中の友だちを案内することになった。あなたは日本のどこに案内したいか、理由とともに 15 語程度の英語で答えなさい。										
解答例	・ I want to take him[her] to Kyoto because it has many historical buildings. (13 words) ・ I want to show him[her] around Osaka because it has various kinds of cheap food. (15 words) 案内したい場所を選んだうえで、その理由を正確に書けているかどうかのポイント。										
(参考)学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (1) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。										

サンプル問題について

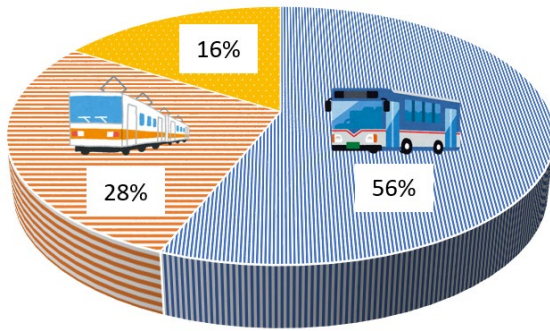
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:4

出題科目	英語コミュニケーションⅠ													
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		—		○			
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—			○											
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	—			○	
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—			○											
サンプル問題	（下記の問題は、「話すこと」（発表）に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。） 以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは 30 秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。 How do students come to school?  ■ By bus ■ By train ■ Others													
解答例	解答例：At this school, students come to school more by bus than train. 解説：グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① オ 話すこと〔発表〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
---------------------------------------	---